DRAGON KLEIN



DRAGON KLEIN





















Welcome to CHARACTERS









LADYUS SOPP

●レディオス・ソープ

別名・ソープ' （ダッシュ）。星団史上最高の美少女。Dr. バランシェをノックアウトさせた程ものすごい容姿と知性をもっている。ただし、ものわすれはものすごくひどい。それはおいても気合いの入ったキャラシートではある（当たり前か）。

EIZ-FATES BALANCE

●アイツ・フェイツ・バランス



Dr.BALLANCHE

●Dr.バランシェ

クローム・アイツ・フェイツ・バランス・イレブンの頃である。サービスで2つ載っけた。肩幅の狭さったるやスンゴイね。ちっちゃいのは学生時代、おっきいのがクーンを作った頃のものである。ホントにこーゆーデザインてすんごいわ。いやいや、ホメなくていいから……。1年前は'60年代ブームとか言ってたが、こ――んなにハンランするとは思わんかった。あの頃、'60年代を出した漫画家はオレと中尊寺センセぐらいのもんだったろ〜に。とっこっろっがっ'60年代と'70年代をカンちがいしやがるバカどもが日本には多すぎ。だっせ――'70年代バリバリのオカシなカッコしてＴＶや雑誌に出るアホウが多すぎんのよ。おかげでデッドストックのベルボトムジーンズはおろか、'80年代初頭まで作ってたセーラーカット、ブーツカットまで超プレミアだと――。ザケンな、ばか！　'60年代と'70年代のカッコの差はすんごくカンタン。'60年代のフラワームーブメントは1着50万円〜200万円の金持ちしか着れないカッコ。'70年代のヒッピーは誰でも着られるものよん。当時の服はジバンシー、サンローラン、ディオールなどオートクチュールのみで扱ってたものが多く、当時でさえ100万前後していたハズ(しっかし、すんごいヘンケンだわ。決して高い服ばっかじゃなかったケドネ……)。

DIMOS HIAHRAKI

きゃ――、きゃ――、きゃ――。「私のお腹の中をかき回して――」てな声が女性の間から聞こえてきそーなお方。クーンがプライドも何も、かなぐり捨て、あと追っかけたのも分かるわい。星団最強。あのカイエンすら、しょせんこの男の前に出ればまだまだ子供。ミューズやソープに到っちゃまるっきり相手にもならんというくらいスゴイ。こんなごついキャラ、人気ムリかな――とか思ってたら、意外や意外。すんごいの。彼の登場したアドラー2629？だっけ（コラー！）にはまったく異なった３人の男たちが出てきましたが、１人はこのヤクでアタマイカレてっけど強いからイイのってのと、ギスギストゲトゲ、イヤ――なやつだけど美しいからちょっと許したげよ。才能だけはすごそ――だし、というバランシェ公。んで何やらわけのわからん女装趣味でパンツ丸見えの帝王それも一国のホンマものの国王陛下で、見てるだけならいいやというソープさん。そして３人の女性、とりあえず、ついてます。まず、それで何か文句あんのとゆーサロメちゃん。プライドギンギン、セリフギスギス（カタカナだもん）作ったやつの性格そのまんまだけんど、ぶたれて目覚めたクーンちゃん。んで何やらわけの分からん、お父さんの持ってたグリースの国宝ティアラ、金帯、宝刀をふんだくったらしい、生まれてこのかた命令なんかされたことなくってよ、食べるものがない？　パンさえないの？　じゃ、ケーキを食べればよろし――んじゃないのよ、とのたもーたどこぞの王女のごとき人間の骨格してないカレンちゃんと。まぁ……まぁ……まぁ……天然記念物集みたいな回でありました。ちゃん！　オールカラーでやったら、きっと目つぶれてたろーなぁ。





QUEEN

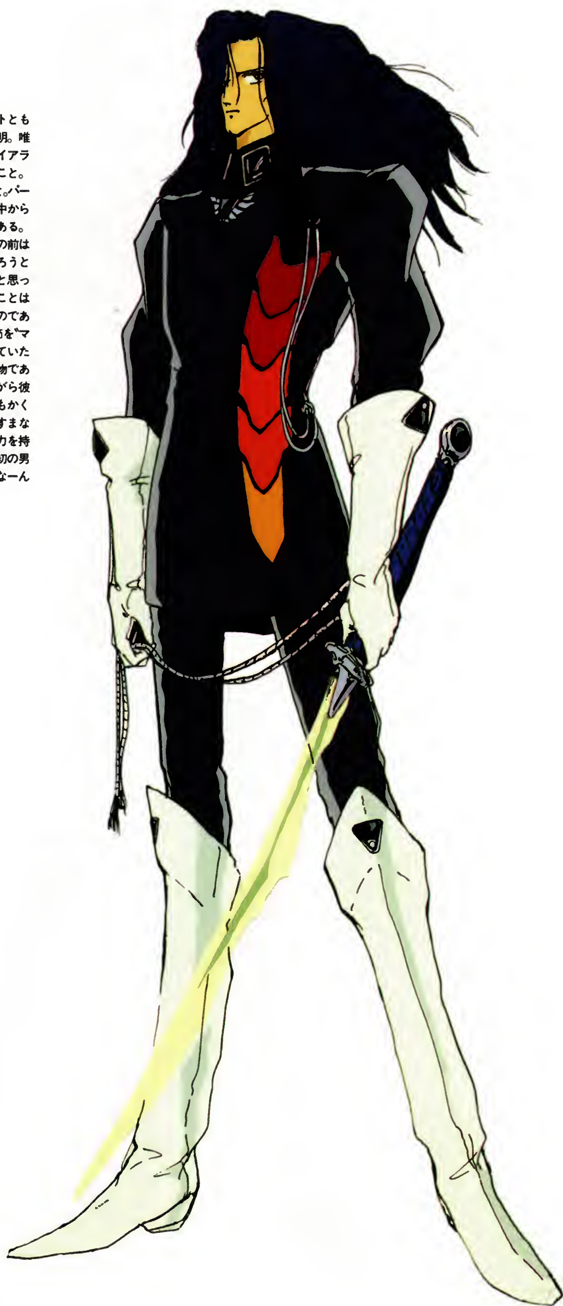
●クーン

Dr.バランシェの記念すべき１作目のファティマであり、のちの“バランシェのファティマ”全ての素養が入っている。並の騎士以上のパワー…そして、これ以上は次の作品集でくわしく解明されるであろう。シリアル・ＢｆＦＦ１Ｍ．ＫＯＯＮ〈Ｍ〉。ディモス・ハイアラキのパートナー。

DOUGULUS KAIEN

●ダグラス・カイエン

別名シルバーナイト、暗にダークナイトとも呼ばれる。本名不詳、一切のデータ不明。唯一の手がかりは、彼が剣聖ディモス・ハイアラキの剣をすべて受け継いだ人物であること。師のMHウォータードラゴンを駆ること。パートナーがアウクソーであること。星団中から最高の懸賞金をかけられていることである。以下は推測でしかないが、アウクソーの前は〝クーン〟が彼の面倒を見ていたであろうといわれる。彼自身戦闘をバカバカしいと思っているフシがあり、全力をあげて闘うことはほとんどなく……つまりエーカゲンなのである。2989年時のA・T戦も彼女が剣の調節を〝マヒ〟にしていなかったら一体どうなっていたか……考え方によってはオソロシイ人物である。対メル・リンス戦も、どうせ戦いながら彼女を口説いていたのは間違いない。ともかく彼が全力をあげれば天照とて無事ではすまないだろう。人は時として神をも超える力を持つものなのだろうか。アトロポスの最初の男ってやっぱりこいつかなぁ。うーん、なーんかハラ立ってきたぞ、くそー。





AUXO

●アウクソー

Dr.バランシェ38人目のファティマ。2989年一度死亡したがコークス博士により蘇生している。バランシェは自分の娘たちに色々な実験を行っているようである。それだけではなく、彼女は幼少時ソープと同じくカイエンに会っている。バランシェはクーンのパートナーの後継者であるカイエンに彼女をつきそわせてやりたかったのか、カイエンと彼女の結びつきが強力な理由はそんなところにもあるのかもしれない。カイエン亡き後の次のパートナーはミラージュのマキシである。ファティマに感情制御をほどこしたところで、彼女らにも確実に意志はあるのだろう、マキシ消滅後は天照のもとにつかえる。



MUSE-VAN REYBACK

●ミューズ・ヴァン・レイバック

クバルカン法国の司祭の家に生まれ、なおかつスゴートルズ地方の豪族出身者である。ルーン騎士団は星団でも有名な男ばかりの騎士団であるが（伝統を男女平等と勘違いするアホが多すぎる。修道院に男が入れるかっての！まぁ、どっちでもいいと本当は思っているが、ヒス女のワメキは頭にくるだけであった）。そーゆーバカげた圧力もあったのだろうが、ガンとして女騎士を入れない騎士団である。ガンとして入れないとゆーくらいだから、頭もガチンガチンのボクネンジンが多く、このしともそのタイプである、カステポーでの数年間、おしとやかだが言うことゴーインの静さんとカイエンにはさまれ、何とか一人前になって欲しいと思うのである。名をレイマークからレイバックに変更したのは単なる気まぐれ。ゴメンね。



SSIZZ
●シズ

東洋系というか、日本人ファティマは、京(KYO)、時(TOKKI)、町(MASCIE)、舞夜(MAJA) がいる。うち現時点でFEMCに行っているのは、町のみ (アーレン・ブラフォード)。余談だが、バランシェNo.1クーンはケルト。No.2パルテノはマサイ、No.4マージャ (マヤ) はインディアンと白黒黄となっている。ケルト、マサイ、インディアンは各種族ともに最も鋭角的な顔をしているのもオモシロイが、ケルトはアーリア (北方ゲルマン人) より直線的である。また、白系で一番甘い (やわらかい) のはアングロサクソン(アメリカ、イングランド)。ちなみに、ケルトは、アイルランド、スコットランドの一部。アーリアはデンマーク、旧ドイツ、ケニヒスベルク (現ポーランド) あたりの民族である。話がそれた。最近の日本人 (昭和40年代後半生まれ) は、もう一体どこの民族だか識別不可能だろう。高い腰、うすい髪、せまい顔幅と、東洋人が4世代にわたり西洋食文化を受け入れた結果だろう。友人の話によれば、戦国時代の日本人もその顔つき体格は西洋人そのものであったという。長い戦乱の世で、ホリは深くなり、体格はバーバリアンのようで、当時日本に来ていたポルトガル人は白人と思っていたらしい。つまり、人種なんて、その時代時代いつも流動的ということだろうか？　F・S・S内で日本人(東洋系)として設定されているのは彼女らファティマだけでなく、天照(当たり前か)、アイシャ(あのでろりんとした顔は西洋にはない)。いずれ、アイシャがヤーボと会う時があろう。そん時比べるのもいいかもしれない。ハナの高さが1センチはちがうハズ。トモエ、もろ日本人であった。げっ、シズのこと書くとこなくなった。ミューズのパートナーである。以上。PS.あんまし出てこない……ネェ、どーしたんでしょ。送ってくださるコスプレの写真見てもシズがやっぱし、一番、自然なんだよね。モデルは……いる。あんまりつっこまないよーに。



JABO BEAT

●ヤーボ・ビート

ボォスの大国、ハスハ連合共和国ハスハント出身。ハスハのエープ騎士団に所属している。エープ騎士団は、連合12カ国から集められた精鋭により、12のグループに分けられている。彼女が籍をおくスパース隊はエートール部隊の中でも最強といわれる有名な部隊。隊員は薬や手術により、強化体質になっている。パートナーのファティマはコンコード。



CONCORDE

●コンコード

ヤーボ・ビートのパートナーである。ヤーボさんはけっこうしっかり者の女性の様でもやはり騎士。アイシャと大してかわらない様な生活を送っているハズ。彼女らの様な、女対女型ファティマというのもそのへんに理由があるのかもしれない。男ってむくわれない…。特技は育児…げげっ。

AISHA CODANTE

●アインャ・コーダンテ

これは､トラフィックス２からのコスチュームである。しばらく、フロート・テンプルを離れるため……まあ、よく一国の首相が、１年も２年もバカンスに行くわ……どこぞの大統領は10年姿くらましていたし……すんごい世界ではある。髪の毛は、こちらが本当の色である。黄緑の髪は、スプレーだろう。アイシャ自体、どーも東洋系の血も入っている顔のようである。もちろん、混血だろうが……。まあ、ヨーン君と仲よくやってください。





ALECTO

●アレクトー

ミラージュNo.2のアイシャのパートナーであり、メガエラ、ティスとの3姉妹の長女。アイシャのパートナーだけでなく、のちのコーダンテ家のファティマとしても、ミラージュに仕えた。



LIE EX

●リィ・エックス

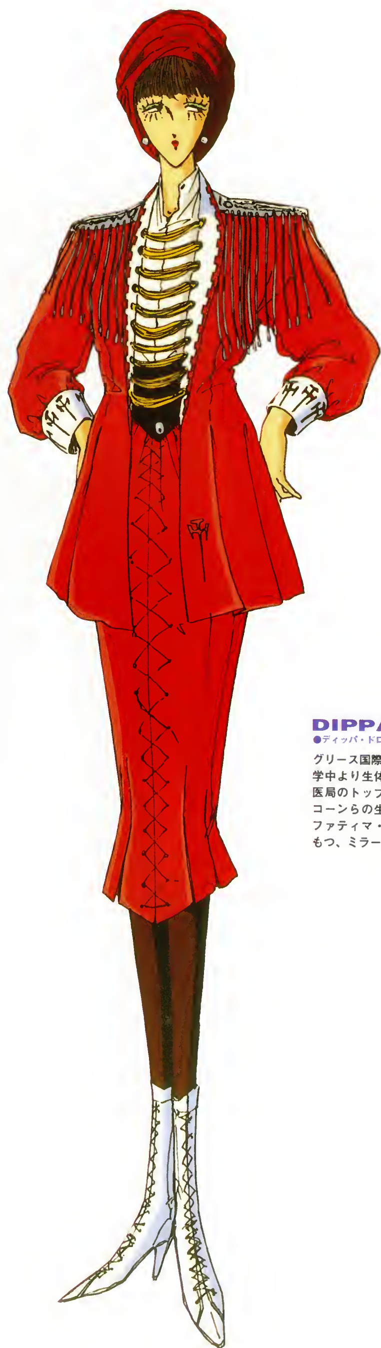
デルタ・ベルン東方３国（グリース、バビロン、アトワイト）の１つアトワイト公国の貴族、エックス家の長子。レーザー鎌の使い手として有名である。バランシェの男型ファティマ、イカロスをパートナーとする。つりあがった目がチャーミング（なんのこっちゃ）。足細し。



ICARUS

●イカロス

Dr.バランシェの男性型(成人型)ファティマ。No.30。男性型ファティマで、現在登場しているものは、バランシェファティマではアキレス。その他ではカステポーのおっちゃんのスクラープ(青年型)、イラーのアナンダ(少年型)くらいだろーか。男の騎士が男のファティマをパートナーにするのはジョーカーでも〝おしゃれ〟っぽく見られるが、いや単にドスケベなのだが、まぁ、女性ファティマよりはランクは上だろう(オイオイ)。イカロスは、グリース王家分家のアトワイト家のファティマであり、アトワイト-エックス家は天照家の直系の家系である。天照サードの登場で〝ん〟?と思った方もいるだろう。そのとーりであった。代々、エックス(アトワイト家)につかえ、クロス・ミラージュ、レッド・ミラージュ他ワンダースカッツ等で、彼も主人とともにあっちこっちと飛びまわる役目であるようだ。美形とゆーか、このキャラは女顔をしていない美形キャラである。とてもメズラシイとわれながら思う。会心の一筆であった。一応、コスチュームはこれだが、リィの好みで他のものを着ることもある……に違いない。



DIPPA DOROPS

●ディッパ・ドロップス

グリース国際王立大学を首席で卒業。在学中より生体物理学を専攻し、A.K.D.医局のトップに立つ。ログナー、スパコーンらの生体モニターも彼女の担当。ファティマ・アキレスをパートナーにもつ、ミラージュNo.9。



ACHILLES

●アキレス

一応イカロスの兄にあたるバランシェの29体目のファティマ。主人は、ミラージュのディッパ博士。ファッションのコンビネーションもイカロスと対になっていてなかなかおかしいが、けっこうイカロスより大人びた印象である。基本的に顔は同じよーなものだろう。初登場は、ジュノーでのクロス・ミラージュ出撃時。この2人、キャラクターズよりこぼれてしまって(女の子たちのブーイングも多かったが)やっとこ登場。しかし、カラーリングは他のキャラクターよりも古いので、ビビッドな色になっているのはゆるしてくんろ。バランシェの男性型ファティマはこの他に大門がいる。そのうち出るだろお。

A.T.

●エー・ティー

アトロポスさんである。何といってもアトロポスさんである。ボブヘアでなくても、アトロポスさんである。クローソーと同じカオでも、アトロポスさんである。ぜえぜえ。ツアイハイでの戦闘のあと、姿を消す。が、何やら変なものの面倒と、変な人間のメンドーを同時にみさせられる（デルタ・ベルンのヘンタイマザコンである）。おきのどくに……。第4話・アトロポスの章に登場するが、このアトロポスの章は2部に分けられる。カステポーでのパート1と星団暦3500年あたりでのパート2である。それぞれどちらも完結しているので安心して読んでネ。以前のキャラクターズで「アトロポスの回は小説に」とか言ったけど、シナリオができるにつれ「こっ、これはもしかすっとＦＳＳ最高のストーリーではないかい？」との気持ちが高まり、出てくるキャラクター（ものすごいのよ）の描写はもう「描きたい！」になったので、漫画にする。ごめんね——ッ！あれよ、あれが出てくんのよ。冒頭にはあれ、あれが出てくるしね。んで、これ。これがもうどーしようもなくてさ……（最後のは分かったハズ）。



MEETH SILVER

●ミース・シルバー

星団暦3100年以後の数少ない5本線〝フル・マイト〟である。師はプリズン・コークス、つまり3代目バランシェともいえるだろう。代表作的ファティマは〝アルファ〟〝パロッサ〟だが、この時代フル・マイトが少ないためにエスト、イエッタ、ティスホーンなど数えきれないほどのバランシェ、モラードファティマのケミカルを行っている天才博士である。結婚はしていないが息子が1人おり、後にアウクソーをパートナーとする。すでに彼女が本編に登場しているのはおわかりだろう。これ以上は言うまい。





HÜAH von HITTER

●ユーア・ヒッター

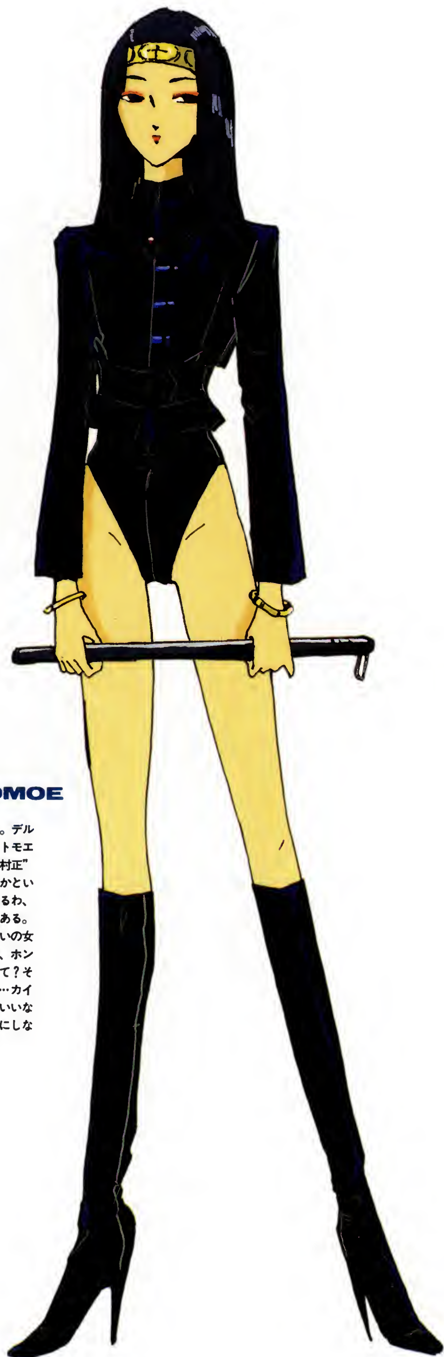
何のことはない、ダグラス・カイエンのもうひとつの顔である。普段は、ヒッター子爵と名乗っているらしく、単なる女たらしである。この人にそれ以上何があるというのだろーか？　ダグラス・カイエンに関しては、一切不明であるが、剣聖ハイアラキの剣をすべて受け継いでいる、と言われる。恐ろしい話だが、ソープ（天照）やログナー以上の剣とされている。剣技だけは星団一であり、その生き方や性格に憧れる騎士も多い。それ以上に彼の影響で、腕を上げる騎士も多く、別名、ダークナイトと呼ばれるゆえんである。



MAIYU SUKAT

●メイユ・スカ

通称“すかさん”。元ウース国の将軍だったが、シュベルター戦で負け、おまけに国内での悪事(国家予算でザカーを作らせたことなど)もバレ、国を追われ……おっとっと。これ以上は第4話で……。



SENKOUKEI TOMOE

●泉興京 巴

本名は……長い。ここではカットする。デルタ・ベルン、パストーク家の生まれ、トモエ御前であったりする。大体、超有名"村正"の短刀は持っているわ、毎回これでもかというくらいのブランド品で身をカタメてるわ、いやすんごい。すごすぎてボク好みである。うん。あーた、男子たるものこんくらいの女性を恋人にできなくちゃいけませんぜ、ホント。え、F１レーサーにでもなるかって？そりゃステファノ・モデナだ！たぶん……カイエンに近づいているのは……バカ殿といいながら、本当に引かれてんだろう。馬鹿にしながらも気になるのも恋の１つよん。



QUKEY

●キュキィ

名字なしのQukeyである。この人もいろいろなファッションで登場するのであった。ボォスの北部カステポー出身。



KO-FAN SHIEMAR

●コー・ファン・シーマ

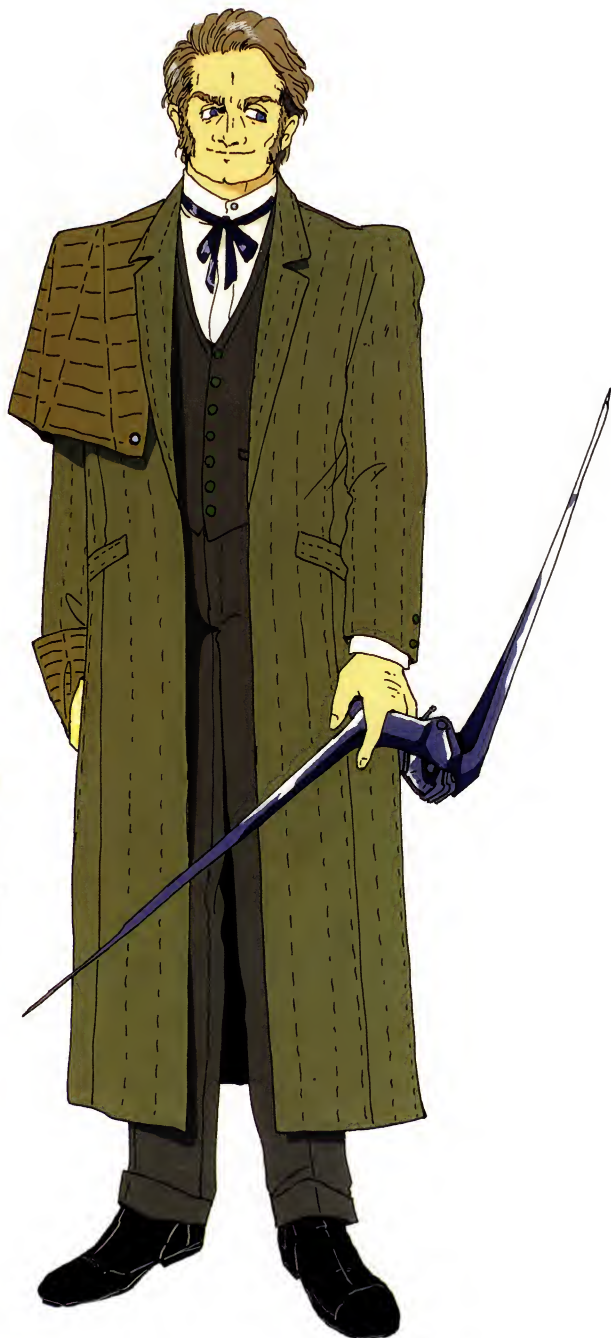
デルタ・ベルン、イーミュ王国の王子。王族の血と、騎士・ダイバーの能力を合わせもって生まれたためか、精神異常……まぁ何をして"マトモ" というかしらんが、強烈な殺人癖を持っており、実の弟を含めて側近たちを次々と殺している。その数50人以上といわれているが、一般市民や黙殺された例も含めれば300人はくだらないと思われる。愛だの誠意だの彼の前では何の意味もなさない。従僕のスエインを殺さないのは計算や愛情があってではない。本能で殺さないのだろう。それが何なのかはわれわれには理解できない。2955年病死……。以後王国には平和が訪れた。



PALU SUYENE

●パルウ・スエイン

ワーク・ブーツに似合う女の子を作りたかったのだ。つまり、つま先からデザインあげていったってことかいな。まあえーわい。彼女は童顔だが地球でいう22歳くらい……アイシャの45歳といい女は信用でけまへん、ホンマ。イーミュ王国の侍従の家に生まれ、王子クー・ファン・シーマの面倒を見ていた。王子の死後、彼女もまた消息不明となっているが、ボォスのカステポーにいることは判明しており、何らかの形で王国よりちゃんと仕送りなどがあるのだろう。スパッドを持つのは騎士だからではなく、王宮の人間だからである。この子、女の子に人気あるんだよ……わかる気もする。



MICHAEL LESTER

●ミハエル・レスター

ミハエルという名でずっこけた女性ファンも多いと聞くが、この作者は美形にゃテキトーに、ごつい男やじじいにはロマンチックなネーミングをするケーコーがあるので気にしないこと（ホーラ、あずかり屋のじじいや酒場のおっちゃんの本名が気になるだろー、ひひひ)。ヴァル・バラでカイエンを止めたり、ミースを助けたりと、さすが元青騎士である。こーゆーカオの人はスキである。



PALSUET

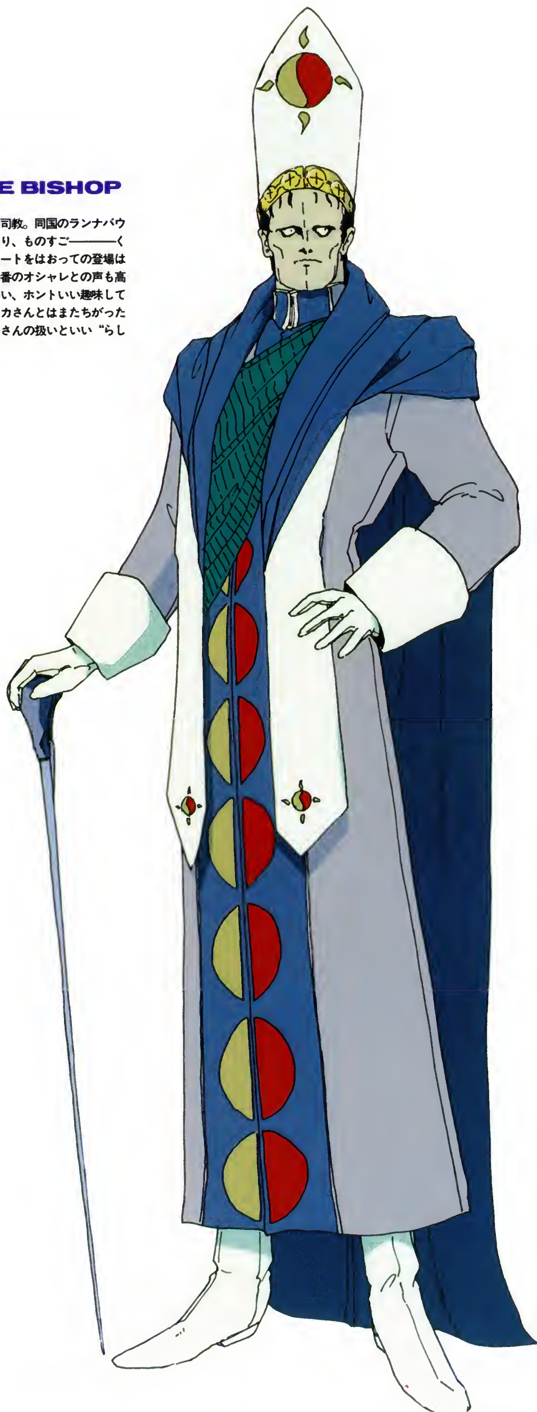
●パルスエット

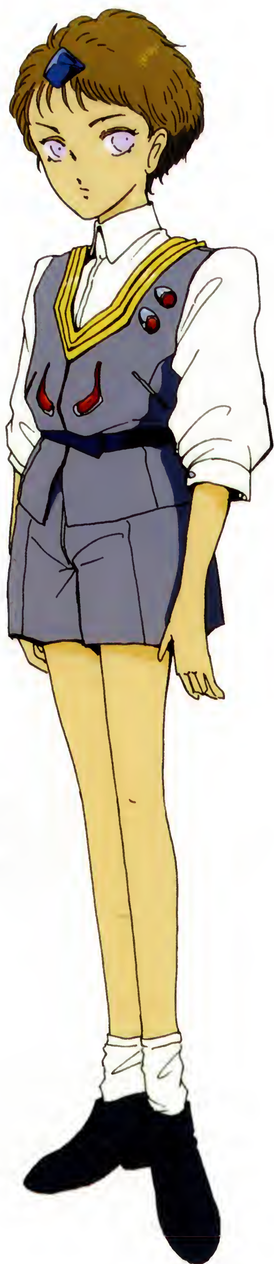
ミハエル・レスターのパートナーである。銘なしの“大量生産品”と言われながらも、どうして大した個性をもっている。トラフィックス1、2、3を通し登場する。騎士から騎士へ、そして……。

ILER THE BISHOP

●イラー・ザ・ビショップ

メヨーヨ朝廷の戦闘司教。同国のランナバウト騎士団の教官であり、ものすご————く強いのヨ。毛皮のコートをはおっての登場はトラフィックス中一番のオシャレとの声も高く、アナンダ君といい、ホントいい趣味してるわ、このしと。スカさんとはまたちがった軍人さんで、トモエさんの扱いといい“らしい”、うん。





ANANDA

●アナンダ

サリタ・アス・ジンクの作った少年型ファティマ。女性型ファティマがタイプを服で区別しているのとちがい（タイト、ブーツ、ソックス）、もろに体型からちがう…こんなんありか。対バング戦後生存している可能性はかなり強い。イラー・ザ・ビショップのパートナー。



BARBALUSE V

●バーバリュース・ビイ

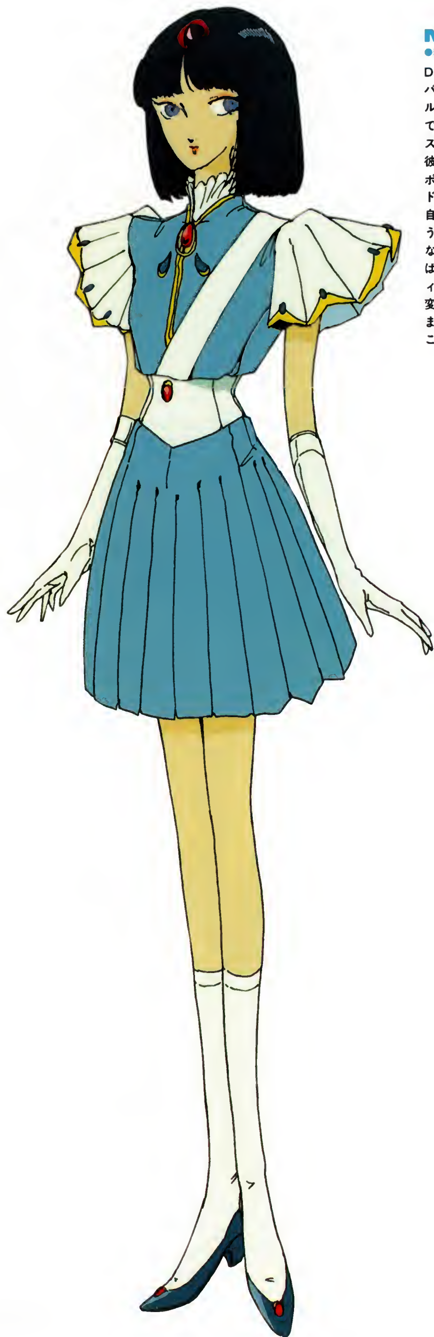
カラミティ星、フィルモア帝国ノイエ・シルチス黒グループの一員。帝王に忠誠を誓い、騎士団一の腕といわれながら、出世コースから外れた人物である。が、団員の信頼、何より実はレーダー王からは最大の期待を寄せられてもいる。そして、実質上の剣指南役でもあり、ラルゴ、ブルーノなども彼に師事した。娘のクリスティンは、のちカイエンより“天位”を受け、ノイエ・シルチス初の女性リーダーとなり、国王自らのＭＨ“バウ・サイレン”を与えられる……が、わたしは彼女がカイエンにいたずらされてやしないかとハラハラしている。ＭＨはサイレン、パートナーはバランシェファティマの町。



CHIRISTNE V

●クリスティン・ビィ

愛称・クリス。誰かと同じ名前だが、フィルモア帝国旗団騎士団、ノイエ・シルチスのリーダーとなる人物である。ハナッ柱の強そうなその顔はダテではない。その血……はかつて登場した父のものを受けつぎ、カイエンより“天位”を授かっている。パートナーはバランシェの町。……こう書くと多数のバランシェ、モラード、コープ(クープ)、コークスらのファティマが数多くの騎士に嫁いでいるように思えるが、バランシェファティマはミラージュのもとへ行っている連中を除くともうあとわずかしかおらず（数人は戦死している)、モラードファティマは2989時でわずか16名。コープは多少多く、25、6名。コークスは８、９名しか作っておらず、バランシェの45体というのは彼が人の２倍生きているからこそこれだけの数を作り出せたのである（モラードものちにバランシェと同じ方法を取るが、それでも39名のモラードファティマしか残さなかった)。４大マイトのファティマはそんじょそこらの騎士が扱えるシロモノではなく、断言してしまえばFSS本編に登場してくる準主役級しか扱えないと言ってもいいだろう。ミラージュ以外へ行っているバランシェファティマは時、町、京（のちミラージュ)、静(のちミラージュ)、それ以外いたであろうか？　いるんだ、これが。大門、アンドロメーダ、レレイスホート。こんなもんかな？　これら全ファティマのシリーズ、シリアルは次回キャラクターズ６(高いぞ、でかいぞ、3000円OVERだ！)でずでんといくと思うが、これから先、彼女と町がどのような人生を歩むかはわたしも知らない。



MACHI

●町

Dr.バランシェのファティマ、静の妹である。バランシェファティマでは、今のところフィルモアに行っているただひとりのファティマであり、バーバリュース・ビィ、そしてクリスのパートナーとなる。トラフィックスでは彼女は実家のあるフィルモアにおり、カステポーにはやって来ていないが彼女のエピソードをどこに入れるかで今、悩んでいる。ビィ自体がああいう人物なので、シューシャのような扱いは受けてはないだろうが、静のような扱いも受けてはおるまい。意外と本人はさばさばしているようだ。これも１つのファティマの生き方だろう。主人がクリス（なんか変）に変わってからは"バウ・サイレン"をまかされる。さっすがバランシェファティマ。このでじゃいん、とても気に入っている。



CHRACCALINE

●クラカライン

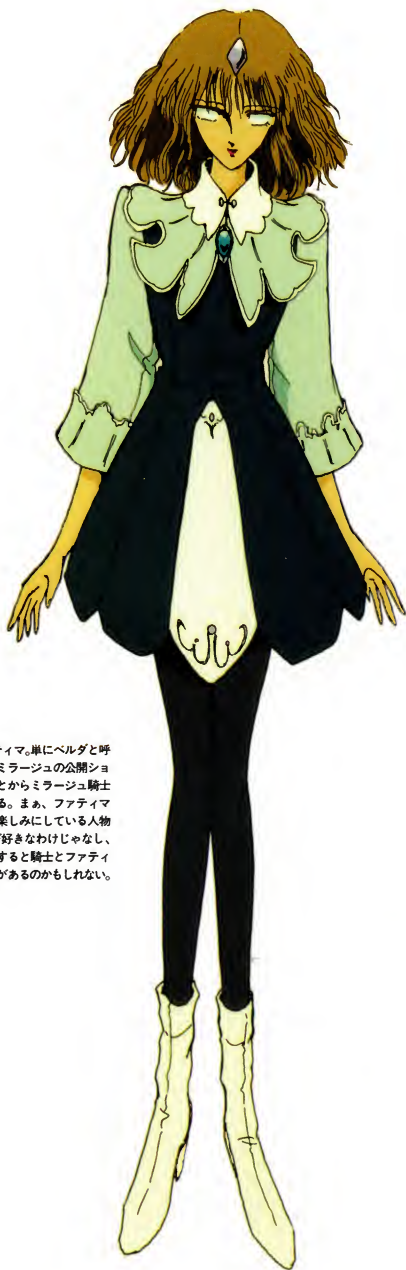
Dr. バランシェ9人目のファティマである。黒と白のツートーンスーツが目立つ。パートナーはミラージュ騎士の"スパーク"。クラカラインは生嶋氏のオリジナル工房"キャスト"の設立にプレゼントとして書き下ろしたイラスト、ヘルメットを外されたLED MIRAGEの上に座っているのが初登場。このイラストは異様に出来がいいので、クラカラインもここに登場した訳である。ストーリーで登場する予定はないが、3159の大侵攻にはレッド・ミラージュとルージュ・ミラージュで暴れ回っている。もんのすごいとんがったヘッドコンデンサをつけているが、一体彼女らのクリスタル、どーやってくっついてんだろーか……？　あえてその辺は出すまいと今のところ思っている。



SALOME

●サロメ

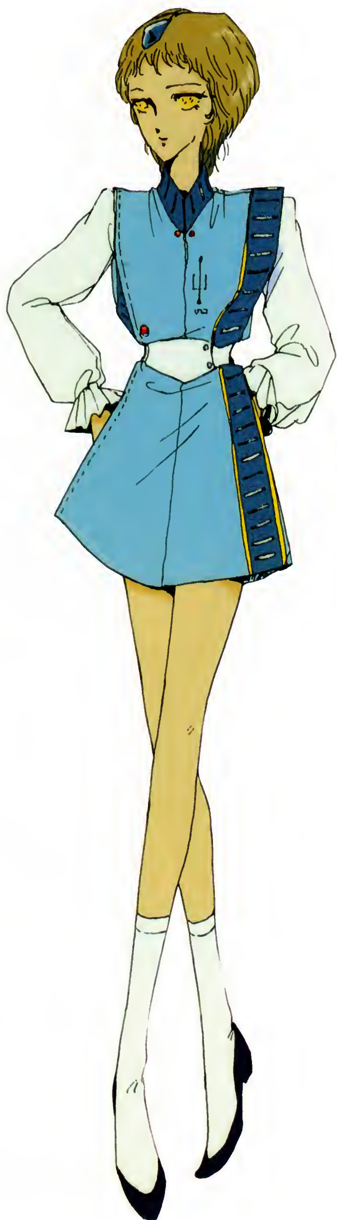
Dr. バランシェが一科学者として工場にいた頃のファティマである。が、当時はバランシェファティマなるものはまだおらず、彼がずっと手をかけていたということで、相当性能的には突出したものがあるのだろう。モラードのパルスェットも同様の理由で大したもんなのよ。いっきなり座りしょんべんたれたやつはこの日本マンガ界でも初めてじゃなかろーか。いや――、ホント、アニメだったら、じょんじょろりんとかＳＥも入ったりして、ヤバイったらありゃしない。ふふふん。……サロメの服はベビードールシルエットなんだけど、ここんところの'60年代（'70年代？）ブームでこのシルエットも当然復活し、もう少しなだらかなラインとなってテントラインと呼ばれてますけどね、へい。



LA-BELDA

●ラ・ベルダ

パローラ・ブラスの手になるファティマ。単にベルダと呼ばれる。マスターは不明。レッドミラージュの公開ショットの１つに彼女が写っていたことからミラージュ騎士団メンバーのファティマと思われる。まぁ、ファティマであるがゆえに、人を殺すことを楽しみにしている人物とて、別に〝物〟をぶっ壊すことが好きなわけじゃなし、……そーゆうことだろう。もしかすると騎士とファティマというのは人間以上のつながりがあるのかもしれない。



ELMA

●エルマ

モラードさんのファティマ。いっきなり出てきたのは何ででしょ。何とな──く、出てきたんだよね。まぁ、フツーのコーラスのファティマはこーゆーカンジって所ですかいな。タイツが肌色なのもコーラスの特徴……？ う──ん、色つきのファティマもいるかもしんないけど、ショートカットってのも多いわなあ……。う────ん、ショートカットの子好きなんよ。うん、うん。



DI–BARROW

●ディ・バロウ

2990年代に突如として現れた老魔術師である。そのダイバーパワーは凄まじく、魔法陣の中にいる時は、騎士さえかなわないというまれに見るパワーをもっている。老いた身体は300歳を越え、体色はゾンビのごとく、また身体も不自由な男であるが、魔法陣の中では絶対的な強さを見せる。反対に魔法陣から外に出ると体調さえ狂うらしい……。ドラゴンの出す〝命の水〟を求め、永遠の若さを願い、そしてダイバーズ・パラ・ギルドを支配下に置くべく野望は果てしない。メイユ・スカを部下に持ち、第4話の敵キャラとしていい味を出してくれるだろお。星団暦2200年代の昔、最大最強の魔導師と呼ばれたディス・ボスヤスフォート——彼の野望を引き継ぐつもりだろうか……。

MELL SACHEIR

●メル・サッチャー

メル・リンスひきいる、グリースの魔導軍のトップであった女性。ミラージュを引退したライムやルスと同等の位置にいる。ズームにしろ、サッチャーにしろ、彼女らのデータは一切不明である。今後も公開される予定はない。データと設定ばかりのＦ・Ｓ・Ｓキャラにおいて、もうひとつのミラージュ？と彼女らは一切設定はされていないのだ。クロニクルにも空白となるだろう。調べてもムダ。

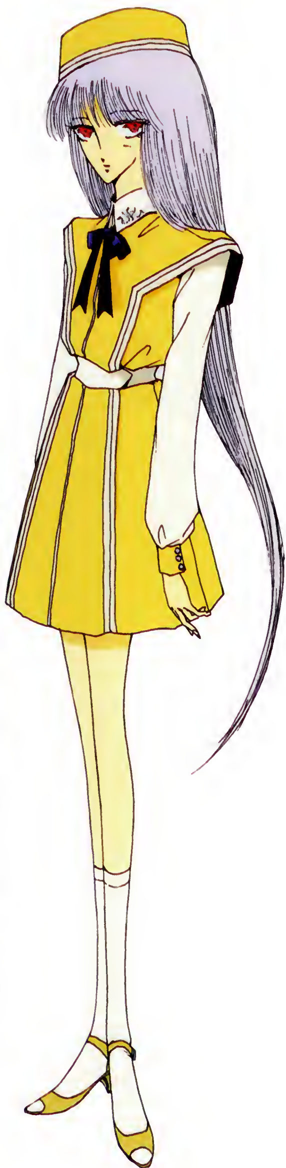




MELL "RINCE" USARE TAMA

●メル・リンス・ウザーレ・ターマ

女に変身した時の天照である。強力なダイバーの家系である。アマテラス家に、彼女のような人物がいてもおかしくはない。ただし、彼女もソープの時と同じく、ヘッド・ライナー兼ダイバーという"バイア"(ほんとは違うけど)であり、天照の裏の顔なのである。その力をもって、2代目ハイアラキ、"ダグラス・カイエン"をミラージュに入れようとして失敗しているのは本編でもふれているが、本来、ハイアラキの力の前には、ソープも天照も太刀打ちできなかった事実があり(2629)、天照の本性を見せたのだろうが、カイエンだけは、コントロールできなかったようである。トラフィックスにどういった形で参加するのかは不明……というより、トラフィックスに関しては書けないことが多いのだ。ストーリーがバレるからネ。スイマセン。



PRINCE AMATERASU =LADYUS SOPP=

●プリンス・アマテラス、レディオス・ソープ

プリンス・アマテラス――幼少時の天照王子である。2224年頃であろう。そう、また天照フォースではなく、レディオスと呼ばれていた頃の彼である。ほんっとにも――、こいつは小さい頃からこんなカッコして王宮を飛び回っていたかと思うと感情のあるない以前にお母様は頭を悩ましていたことでしょう。幼少時とはいえ、やはり後のソープ（マイスターの方）とは雰囲気が違い、どちらかと言えばリンスに近いようである。女装とゆーか、少女チックなカッコーは源義経（牛若丸）や他の古典にも多いので、別に王宮じゃよくあることだったみたいだけど。ここまで美しいと女性は近寄りたくないよなー。命を捧げてもいいというやつはほっといても集まってくるだろーし。国王になるやつだから、そう言える訳でもあって、一般市民がこれやったら単なる変態で石ぶつけられて終わるってところが彼らの言う下々の方々とはちょっち違うってことかいな。まぁ、こんなやついたらボードどころか私だってアブないけど。「あなたのためにＦＳＳ描きます」とか言っちゃいそーで（実際、こいつを永遠に描きそーだが……）。クローソーちゃんみたくフーインする訳にもいかんしな――。そ――ゆ――意味ではたしかにヤバイキャラである。第４話に登場する（どーだ、いかに４話にものすごいキャラが用意されているか。すごそーだろ←すごいぞ、ホント）。ちなみに、彼のもそーだが、ファティマたちのペラペラの靴下はすべてナイロン。あくまでプラスチックの触感にこだわる作者でした。ブラウスはシルクと。綿製品をほとんど使用しないのもファティマの特徴かもしんない。……しかし、よく君たち、こーゆーマンガのファンをやってられんねー。信じられんわい。



DIS VOSJATHFOART

●ディス・ボスヤスフォート

星団暦も2000年初期。単身、星団をカゲでコントロールしているという“ダイバーズ・パラギルド”、その本拠、グリースの天照命の元へ単身乗り込み、パラギルドの乗っ取りをたくらんだのだが…騎士をも上回るそのダイバーパワーは時間を一瞬止めるものではなく、数秒（100分の1秒程）先を見ているからこそ騎士より早く、行動できたのであろうか。同時に行動を起こせば、騎士に絶対にかなわないのだから…。強力な魔導力（ダイバー）を持つが、霊力（パラ）の方はそれ程でもなかった。それ故、ソープに一瞬に消されてしまう所だったのであろう。トラフィックス3で再登場する。

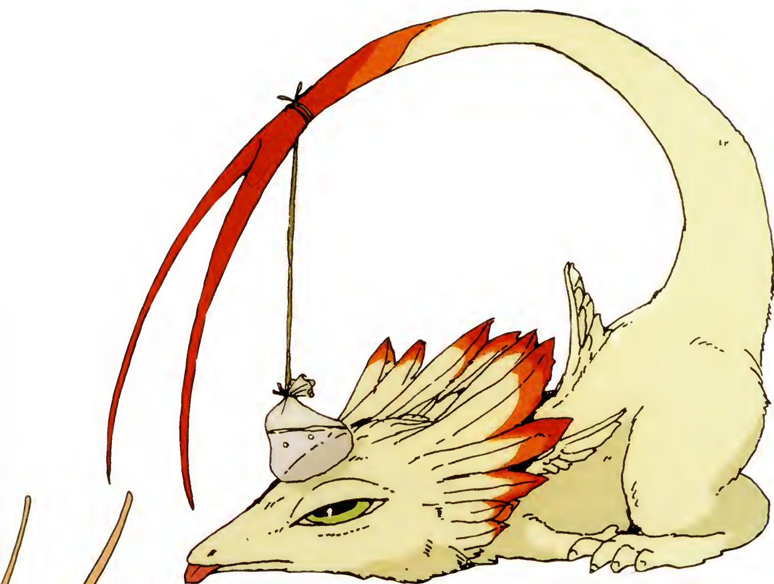


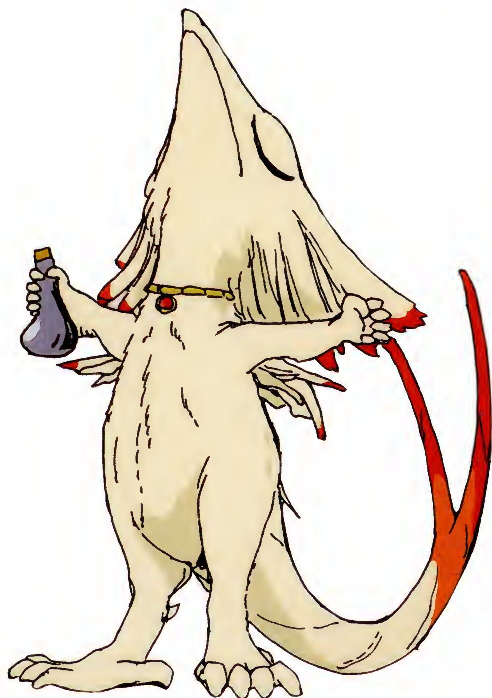
THANDER DRAGON

●サンダードラゴン

ボォスに棲息する史上最高最強の完全生命体である。陸海空の王者であり、そのパワーはＭＨさえ敵ともしないほど強大である。サンダードラゴンは５種５頭いるドラゴンの中でもブルーの羽毛、皮膚、ウロコを持ちブルードラゴンと呼ばれている。ドラゴンは５匹とも単科・単目・単類である。つまり、ドラゴン類(網)サンダードラゴン目サンダードラゴン科と分類されている。人がほ乳類霊長目ヒト科、日本人オスとゆーふーに分類されるのとまったく異なるのだ。その生態は不明。爬虫類でもなく鳥類でもなくほ乳類でもなくドラゴン類なのである。幼体から成体までに数百年、寿命は1000年を超えるという。さて、アニメでこういった動物を出して成功したのは未だ「眠れる森の美女」のブラックドラゴンくらいのものではないだろうか。カイジューみたくリアルにすればするほどこっけいだし（だいたいアニメのカイジューなどにろくなデザインがない、というよりアニメ用にリファインされていないのだ）。カラーリングにいたってはもうメチャクチャ。この手のものは「ナウシカ」の巨神兵くらいの手間が必要なのはわかっちゃいるけど、やってらんないというのもあるのだろーか？　みんなでもっかい旧作の「ジャングル大帝」見直す必要があるんじゃないかと……。まだまだこの手のアニメートには、開発の余地が多く残ってるようである。やっぱしぼくもアニメ出身だからなのだろーか、羽根がはばたかないのもそーいう理由からかもしれない。本当にムズカシイのよ、うん。











SUEZOU

●すえぞう

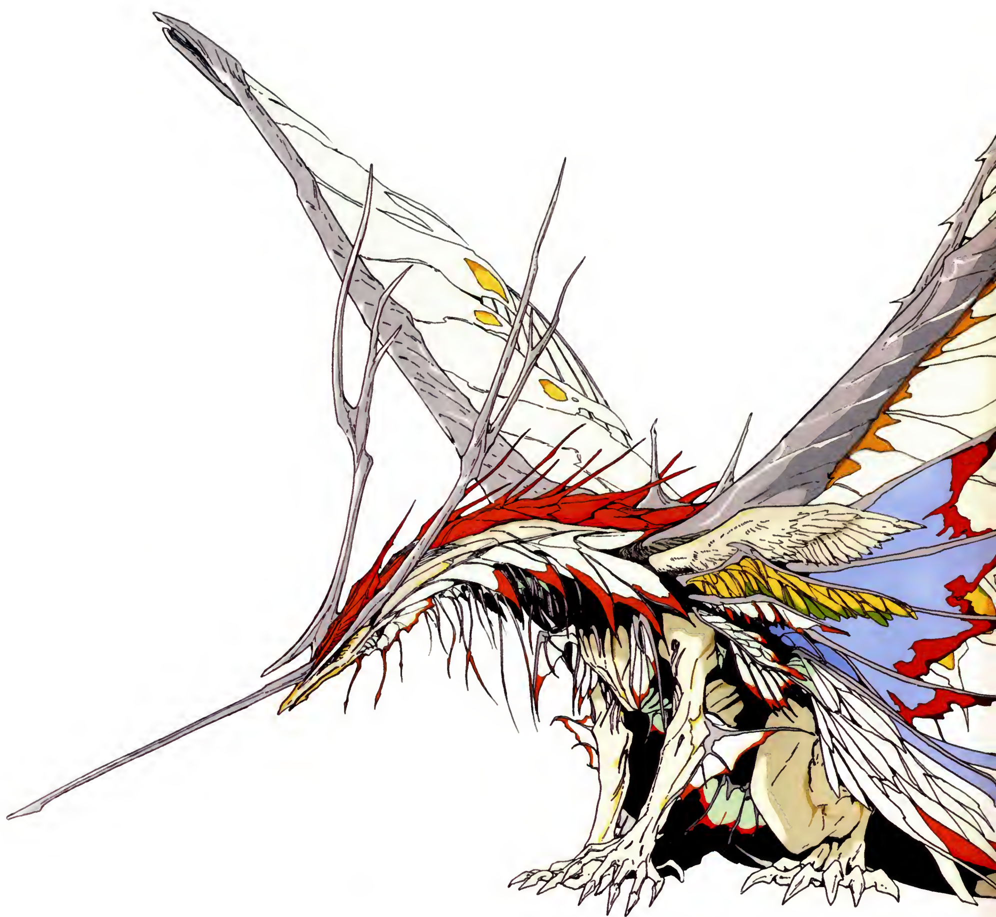
2分50秒ですべてを忘れ、何もしないとんでもねーやつ。もっとも成体になれば幼体時の記憶すべてとりもどすんだけど。人気あんのよ。出てないのに。な——んでか。とゆーことで、第4話ではあまりこいつの描写するのやめた。出すのやめよーかとも思ったけど、出てこないと話にならんのでとりあえず出してやることにした。いじめてやる——。ちきしょー、人気のあるやつなんかFSSにゃいらねーんだ。クロソは殺したし、ソープもラキも3年近く出してないこのスゴさ。人気の出た時点でストップかけてしまう、とんでもねーマンガ。とゆーことで、第4話以外にゃこいつはもう出ません。あとはすべてあの巨大なすえになります。へへへん。え？　とりあえず説明だけでもしてくれって？　へい。白いのがノーマル。ごちゃごちゃしたのがデザートカラーです。おわり（ひえ——？）。



SUEZOU

●すえぞう

成体となったすえぞうである。L.E.D.ドラゴンのデザインでもあるが、当然こっちが本当のすえの姿であるし、また、FSSの最重要キャラとしてのすえぞうもこっちのほうである。FSSの第２部というかジョーカーでの最大の役目を持って再登場するが、彼らドラゴンがいかにしてジョーカーに送りこまれたか？　また、どうして存在するのか？　は、まったくの謎のままである。そんなものは必要もない訳だし。この姿では何度か登場するが、彼らドラゴンは決して我々の思ったようには動いてはくれないだろう。だからドラゴンなのだろうし、小さなすえぞうの面影などはどこにもなくて当たり前であろう。う——ん、なんか中枢を避けているような文だな——。まぁ、４話を見て考えてクダサイ。ここまで手をかけて設定画起こしたのはK・O・Gやら、L.E.D.以来だわ。

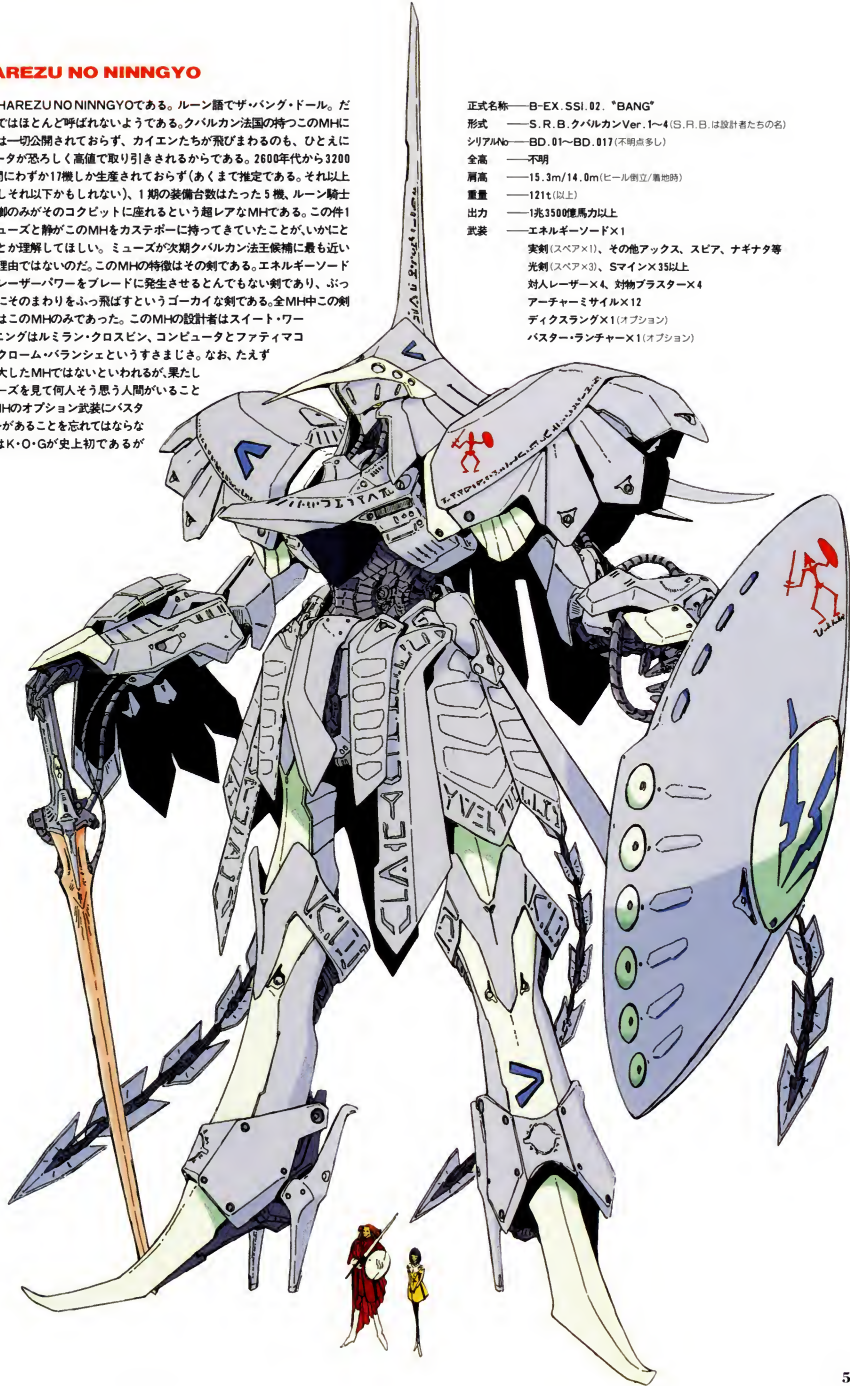


THE HAREZU NO NINNGYO

●破烈の人形

英文スペルもHAREZU NO NINNGYOである。ルーン語でザ・バング・ドール。だがこちらの名ではほとんど呼ばれないようである。クバルカン法国の持つこのMHに関して、詳細は一切公開されておらず、カイエンたちが飛びまわるのも、ひとえにこのMHのデータが恐ろしく高値で取り引きされるからである。2600年代から3200年代の600年間にわずか17機しか生産されておらず(あくまで推定である。それ以上かもしれないしそれ以下かもしれない)、1期の装備台数はたった5機、ルーン騎士の中でも枢機卿のみがそのコクピットに座れるという超レアなMHである。この件1つとってもミューズと静がこのMHをカステポーに持ってきていたことが、いかにとんでもないことか理解してほしい。ミューズが次期クバルカン法王候補に最も近いというだけの理由ではないのだ。このMHの特徴はその剣である。エネルギーソードと呼ばれるイレーザーパワーをブレードに発生させるとんでもない剣であり、ぶった切ると同時にそのまわりをふっ飛ばすというゴーカイな剣である。全MH中この剣を装備するのはこのMHのみであった。このMHの設計者はスイート・ワーナー、チューニングはルミラン・クロスビン、コンピュータとファティマコントロールはクローム・バランシェというすさまじさ。なお、たえず噂でそれほど大したMHではないといわれるが、果たしてこの立ちポーズを見て何人そう思う人間がいることか……。このMHのオプション武装にバスター・ランチャーがあることを忘れてはならない(標準装備はK・O・Gが史上初であるが……)。

正式名称——B-EX.SSI.02. "BANG"
形式——S.R.B.クバルカンVer.1〜4(S.R.B.は設計者たちの名)
シリアルNo——BD.01〜BD.017(不明点多し)
全高——不明
肩高——15.3m/14.0m(ヒール倒立/着地時)
重量——121t(以上)
出力——1兆3500億馬力以上
武装——エネルギーソード×1
実剣(スペア×1)、その他アックス、スピア、ナギナタ等
光剣(スペア×3)、Sマイン×35以上
対人レーザー×4、対物ブラスター×4
アーチャーミサイル×12
ディクスラング×1(オプション)
バスター・ランチャー×1(オプション)



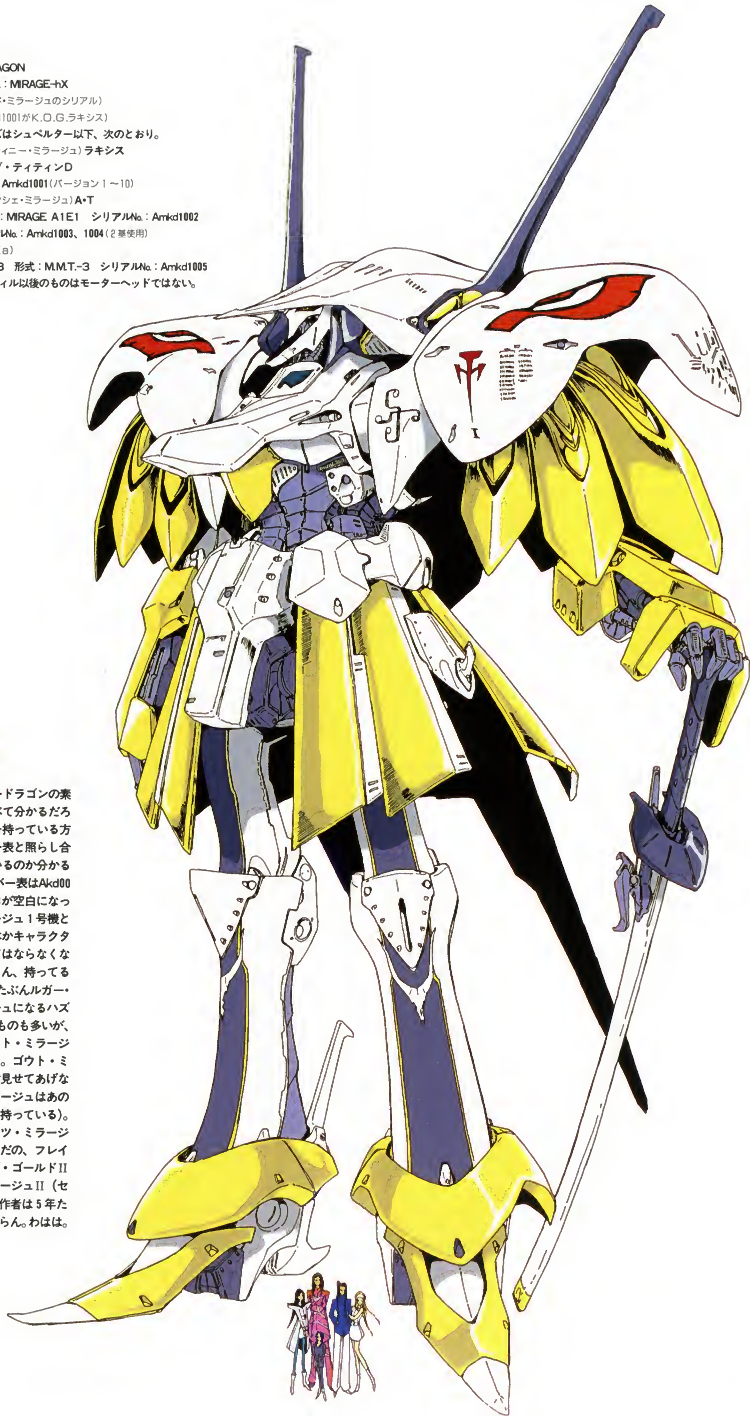


CROSS MIRAGE

●クロス・ミラージュ・メス型

2機存在するクロスミラージュのメス型である。オス、メスと分かれたMHをずっと考えていたんだけど、結局ミラージュでやることになるとは思わなかった。元々、クロス・ミラージュ自体、6機中全機パーソナルカラーや装備、仕様がばらばらなので毎回デザインが違うというのを勘弁してほしいと思ふ。本来のクロスは、もちろんミラージュナイトがL.E.D.ミラージュをしょっちゅう使用する訳にはいかないので（L.E.D.は集団戦専用機である）作られたパーソナルMHであるが、本当の目的はレッド・ミラージュを使用すべき戦いにおいて、スカウトと先行戦闘を行うためである。各ミラージュはすべてレッド・ミラージュを中心に作られている。ルージュは砲支援、ヤクトは先制砲撃と大蹂躙、テロルは後方攪乱、クロスが偵察、そして王のK.O.G.と15機のL.E.D.が戦闘を受け持つということなのである。その中でクロスにメス型が生まれたのは上記のミラージュにおいてもっとも自由度があるMH……つまり、よりノーマルのMHに近いMHということで、本来の目的とは別に騎士たちが持ち出せるようにと……いうことだろう。上下別色のMHをやってみたかったのよん。

シュペルター
正式名称：K.O.G. WATER DRAGON
アルファベットNo.：No.-hx.　形式：MIRAGE-hX
シリアルNo.：Aa-X-4037（ホーンド・ミラージュのシリアル）
Amkd-1000（Amkd1001がK.O.G.ラキシス）
ナイト・オブ・ゴールドシリーズはシュペルター以下、次のとおり。
ナイト・オブ・ゴールド（ディスティニー・ミラージュ）ラキシス
アルファベットNo.：ナイト・オブ・ティティンD
形式：MIRAGE.D　シリアルNo.：Amkd1001（バージョン1〜10）
ナイト・オブ・ゴールド（パトラクシェ・ミラージュ）A・T
アルファベットNo.：DA-1　形式：MIRAGE A1E1　シリアルNo.：Amkd1002
ウィル（スペースシップ）　シリアルNo.：Amkd1003、1004（2基使用）
バイナス（ナイト・オブ・ティティンKa）
アルファベットNo.：KALLEN-D3　形式：M.M.T.-3　シリアルNo.：Amkd1005
以下、Amkd1006まであるが、ウィル以後のものはモーターヘッドではない。



SCHPELTOR

●シュペルター

シュペルターまたはウォータードラゴンの素じょーは、以上のデータですべて分かるだろう。ＮＴ1986年９月号の付録を持っている方は19ページのシリアルナンバー表と照らし合わせると、どこにこのＭＨがいるのか分かるハズ。また、このシリアルナンバー表はAkd0066、0067、0068を消去し、0023が空白になっているが、これがテロルミラージュ１号機となる。このNo.表はいずれ単行本かキャラクターズで、もっかい発表しなくてはならなくなった（だって５年前の資料だもん、持ってる人少ないよね）。0066〜0068はたぶんルガー・ミラージュか、ルクス・ミラージュになるハズである。未だ発表されていないものも多いが、まぁその辺はそのうちに。ヤクト・ミラージュはすでにスタンバイしている。ゴウト・ミラージュはあまりに美しいので見せてあげない。ひ・み・つ（ゴウト・ミラージュはあの美しい肩、ラウンドバインダを持っている）。この付録を持っている人はクルツ・ミラージュだのカヴァード・ミラージュだの、フレイム・ミラージュ、ナイト・オブ・ゴールドII（バージョン11）、レッド・ミラージュII（セカンド）の存在を知ってんのね。作者は５年たっても……全然デザイン考えとらん。わはは。



V. SIREN

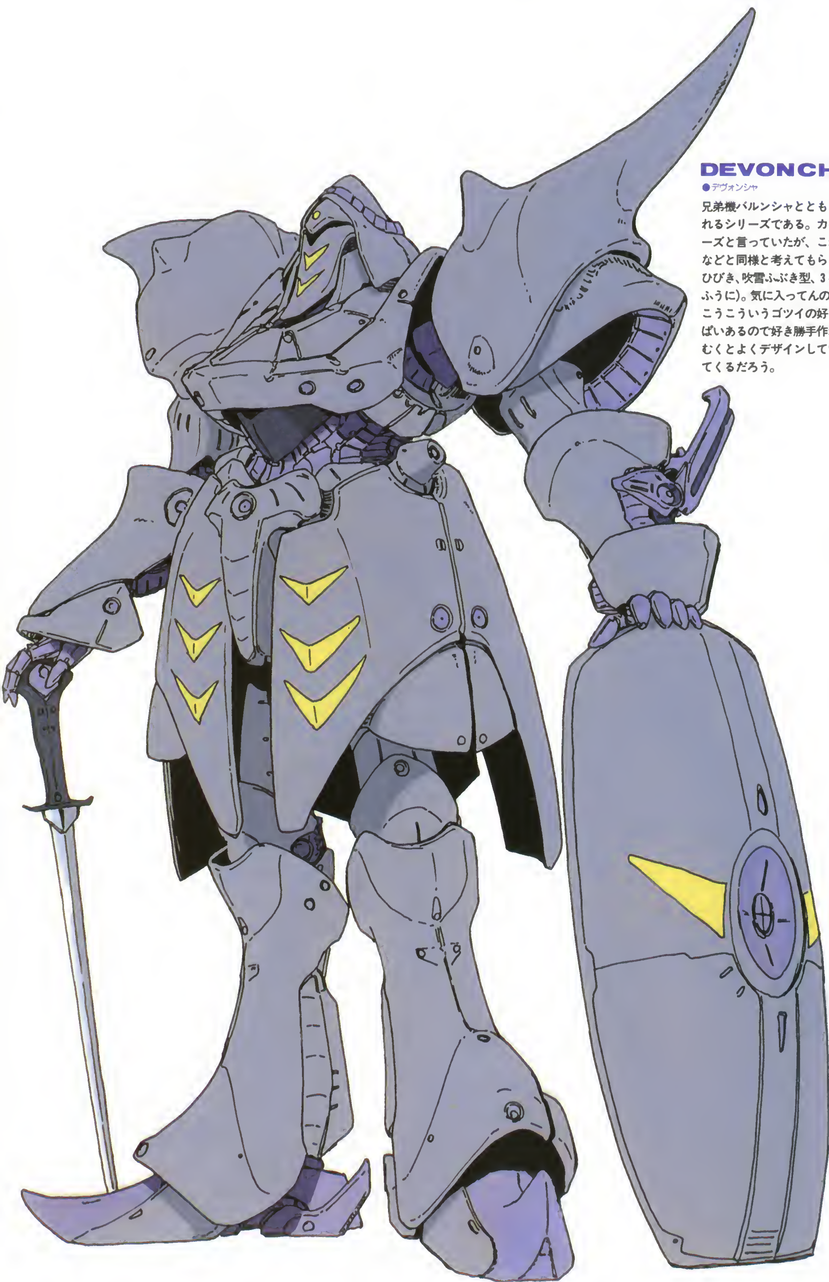
●ウォサイレン

バウ・サイレンとも。フィルモア帝国レーダー王の所有物であり、30台のサイレンの先頭を飾るMHである。巨大な2本角と額の目のマークはA-TOLLのひとつ目とは多少異なるようだが、装甲は極限まで絞られ、各関節、および必要のないところはすべて内装ムキ出しである。ネイキッドプロポーションを持つ、珍しいスタイルとなっている。サイレンと同型機のはずであるが、ここまでチューニングされ、また装甲も外されればサイレンと異なるどころか、全星団のMH中でも異彩を放つ。レーダー王は偉大なる男である。自らの力の権化ともいうべきこのMHを若く、力のあるクリスティン・ビィにいとも当たり前のごとく渡したのである。ここでMHサイレンとVサイレンのデータを記しておこう。

V.サイレン
型式　SJJ－103N
正式名　クラトーマV.O.W.ネプチューン
設計　バルラミドン・シャープス
チューニング　カーマ・シーピーン
肩高　15.2m
自重　最少112t
武装　スパイド×1
S.マイン×4
レーザー4×2基
出力　1兆4000億馬力(公式)

サイレン
型式　SJJ－103A〜M
正式名　ネプチューン103
設計、製作　バルラミドン・シャープス／カーマ・シーピーン
肩高　14.7m
(著名MHの中では最小サイズである)
自重　132t
武装　必要に応じ多様
S．マイン　24〜36基
レーザー砲　16〜32基
出力　1兆2500億馬力
生産数　127機(3200年代まで。以後不明)
バリエーション／型式
A型よりM型まで。N型はV．サイレン。A型は本土防御用の近衛機、識別マークはイエローにオレンジのシールドマーク。B型〜E型はノイエ・シルチス用の戦闘用通常型。識別マークはホワイト(#3ラストのサイレン)。各タイプ、多少形が異なる。F、G、H型はスペシャルバージョン。識別マークはレッド。隊長機に使用される。I〜K型は他国駐留仕様であり、B、C、D、E型より改造される。識別マークはブルーのほか、オーカー、グリーンなど、決まっていない。L、M型は極地仕様。雪原、砂漠地用……とは真っ赤な大ウソ。L型はブーレイ。M型は……不明である。

これら型式は使用地、ヘッドライナーにより分けられており、ミラージュのような目的別型式ではない。また、進化、改良はバージョンで表わされる。サイレンA型バージョン5は、A型の5回目の改良型ということ。これで、なぜサイレンがなかなかキャラクターズに出ないか分かったっしょ。1枚じゃ足りないのネ。ちなみにA型本土決戦用の通常兵器は三叉の槍である。わっはっはっ。



DEVONCHA

●デヴォンシャ

兄弟機バルンシャとともにＦＳＳで多くみられるシリーズである。カイエンが３番機シリーズと言っていたが、これは日本海軍の戦艦などと同様と考えてもらえばいいだろう（響ひびき、吹雪ふぶき型、３番艦シリーズというふうに）。気に入ってんのである。ボクはけっこうこういうゴツイの好きなのだよん。いっぱいあるので好き勝手作れるのもいい。気がむくとよくデザインしていたりする。また出てくるだろう。



ZAKKER

●ザカー

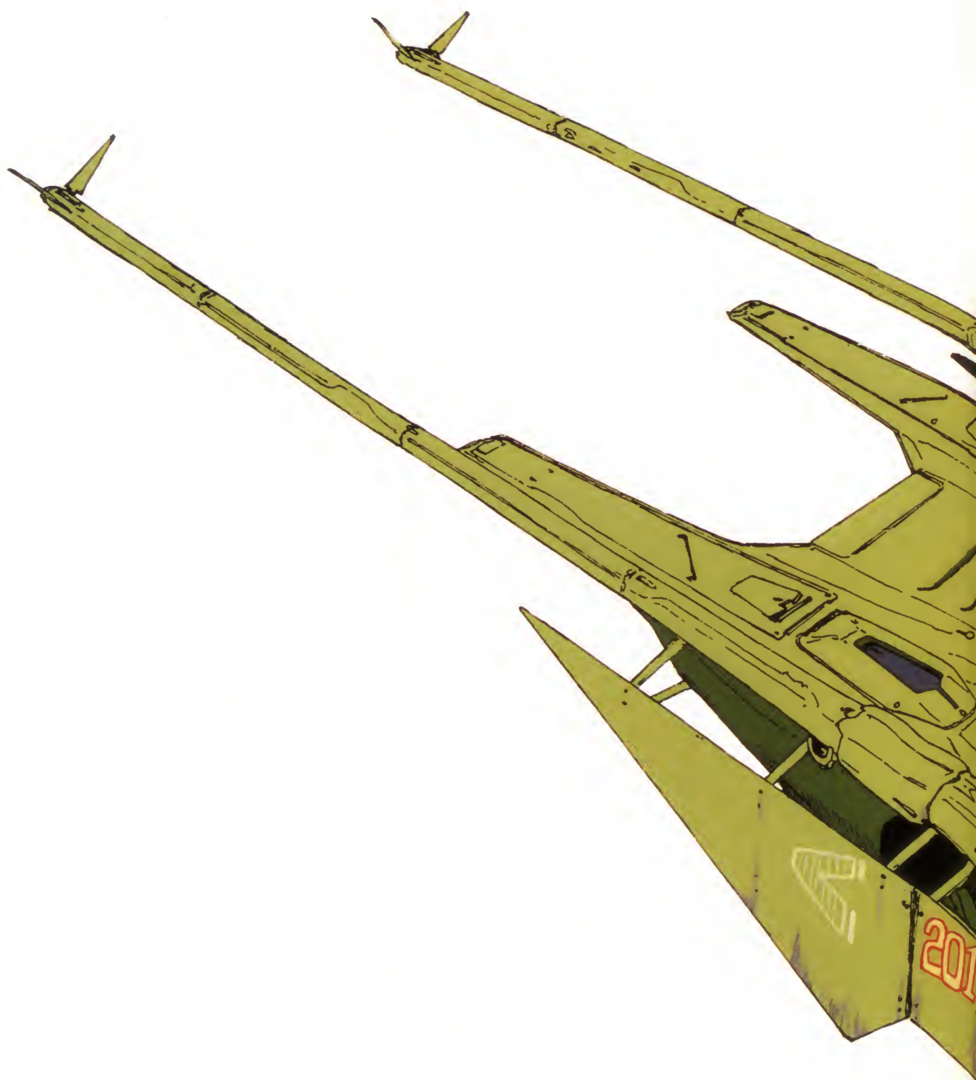
パラベラム・スターム公の作り上げたMH。持ち主であるメイユ・スカの特注である。重装MHのケッ作、ヘルマイネやドイツの4号戦車シャーマンファイアフライ、T-34/85のごとく量産されたデヴォンシャシリーズ（といっても数百台だが）のようなごつい感じはなく、みごとにシェイプされたボディワークはそのチューニングがいかにすごいかを外見から見せてくれる（細身のMHはほとんど極限のチューニングがしてある)。このカラーリングは第4話・アトロポスで再登場するときのもの。はてさて、スカさんとザカー。どんな活ヤクをしてくれますやら。



AIR BALLELE

●エア・バレル

空中戦車を総称して“空中の砲”と言うが、これはコーラス軍のＭｅ－2というタイプで、無砲塔、ツインガンランチャーをもつ、主力戦車である。とてもでかい。





EAY-TOLL SWANS

●エートール(スワンズ)

アトール、エイトールとも呼ばれる。エープ騎士団の旗機である。K・O・Gと同様のコンタクトレンズをはめているため、一見、ひとつ目に見える。旗機MHとしては最も大量に生産され、その数は300におよび、12のバリエーションがある。両肩の円形ベイルが印象的なこの重MHは、星団3大MHのひとつに数えられる。



ARCH

●アーク（スイレー）

出ました全能神ウォータードラゴン。天照大御神と同様、人間の前に出るために人間らしい姿、形を慌てて作ったというところでございましょう、きっと。このほかにもドラゴン形態の姿が出る予定ですが、この方？　こそウォータードラゴン。ドラゴンマスターであり、レッド、サンダー、ジェット、アース、フェザーの各ドラゴンをコントロールする方でありました。伝説の方なので本当にいらっしゃるかどうかは分かりませんが、とりあえず第４話に出てきてらっしゃいます。この方も最強の兵器「あ――んたなんか、だ――いっきらい。消えておしまい！」を持っております。言われた瞬間、そのものは消滅するというおっそろしい、考えられる中でもっともスゴいことでございます。あわあわ。なお、〝ウォータードラゴン〟の章はもちろん〝５つの星の物語〟にあられまして、「アーク」というのは神々の名のひとつ。スイレーが個名？（水零？）ウォータードラゴンはジョーカーの人がかってにつけた名前でございますわいな、とへつらってしまう作者でございました。神様の機嫌そこねてどーする。



O.P.K.L.

●オピクル

オーピクル？　オピクル？　どう読むのか不明だが、ＦＳＳじゃアークソー／アウクソーティスホーン／ティスフォーン／ティシフォーネと、読みが変わることが非常に多く、言ってしまえば50音に英語やアルファベットを置き換えることはまったく不可能である。Ｒ（アール）ではなく（アエール）とか、Ｔ（ティー、チィー）とかさあ、Ｄ（ディー）、Ｄはディーではないのはみんな知ってるもんね。ディーはDAYIEであってDeではない訳。そーゆーものを50音じゃなく、60音程度に増やしてDは ゔ とか、Tは ぴ とかの新ひらがながいるんじゃなかろーかと思う。こういった混乱は模型の戦車がスンゴイの。'70年代はパンサー（PANTHER、ドイツ５号戦車）が後半には〝パンテル〟とマニアどもに呼ばれ、'80年代にはドイツ戦車はドイツ読みでとか言って今は〝パンター〟に落ち着いてる。パンテルはフランス読みで本当はパンテールが正解。イタリアじゃパンタとなりやすが、こっれっが、英語読みだとパンダーになる訳ね（でも英語の発音はパンサーだよ）。一体、上野の動物園のパンダさんか豹のパンターか分かりゃしないってば。Tiger戦車もティーゲルとか、一体どこの国の読み方じゃっていう呼ばれ方されてた頃もあったし。今はティーガーにナットりますが、ティガーの方が近いと思うのヨ。ティーガーだとドイツ語じゃTiegerになるもん。しっかし、ＴはＴでティーこれはドイツ語だと本当に日本語の〝テー〟と読むから楽といえば楽。本当のところ、PANTHERもTIGERも日本語にひらく（置き換える）からトラブル出んだよね。で、ＦＳＳもそーゆーことで各キャラいっぱいいろんな呼び方されてるワケ。O.P.K.L.は〝WATER DRAGON〟に出てくるシト。あとは本編見てちょ。

BUSTER LAUNCHER
FLOAT TEMPLE

チャージングボルト
引くことにより、チャンバー内にエネルギーが蓄えられる。また、安全弁となり砲内でのエネルギーの異常発生をリリースする（逃がす）ためにも使用される。逃がしたエネルギーはチャージャーにもどされる

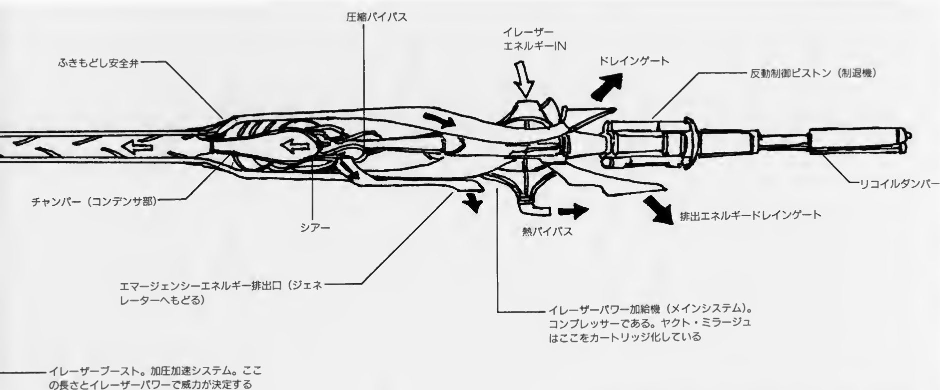
固定架

キャリングハンドル

イレーザーエンジン

ソーラーパネルへ

ファンクションタービン

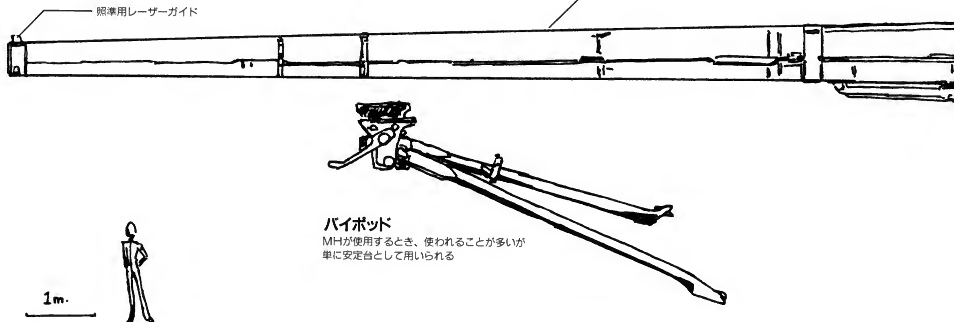


BUSTER CANNON SYSTEM
●バスター砲システム図

BUSTER FAUST

●バスターファウスト

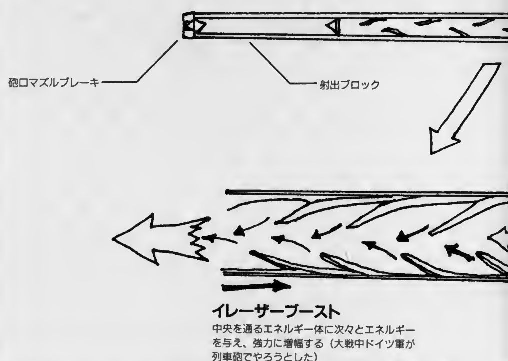
小型のものは"クライン"と呼ばれる。主に飛行艇の装備として用いられることが多い。砲身部とそのパワーを生み出すイレーザーエンジン（チャージャー）は別々になっており、チャージングタイムは約10分前後。連射をするにはチャージャーを複数用意すればかなりの連射も可能になるが、システムが大がかりとなり、まず見られない（威力を増すならチャージャーを大型にするかチャージャーの直列装備をする)。MHが装備するのもこのタイプが多い(3100年頃、クロス・ミラージュがバスターファウストを背中にしょったショットが有名である)。前記の理由でMHが装備しても何のメリットもないのであるが、移動砲台として使うつもりなのだろう。MHの装備がバスターファウストになるのはバスターランチャーだと本体エネルギーを消費するため、MH本体の調整不良と出力不足をきたし、別にチャージャーを背中にしょわしたほうが楽だからである。

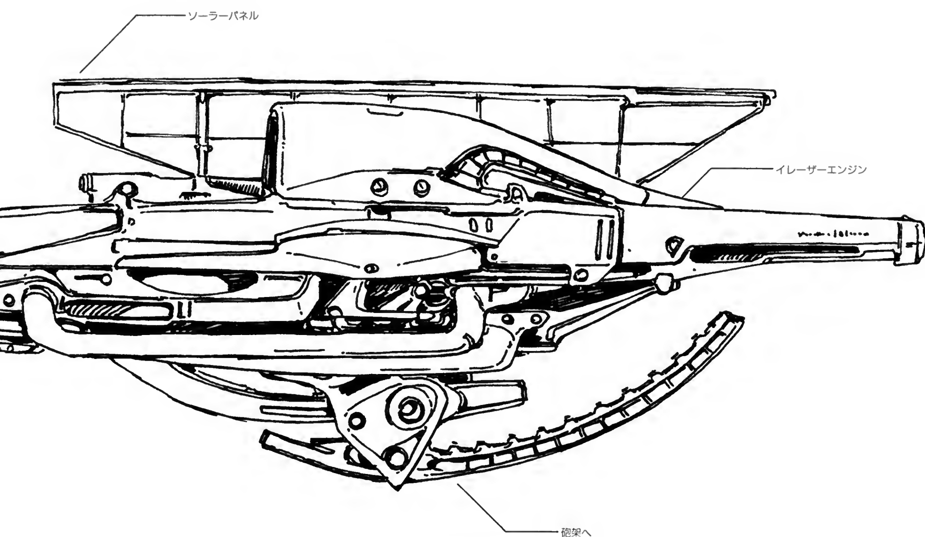


BUSTER LAUNCHER

●バスター砲について

星団史以前に発明、開発されたバスターエネルギーは、後にそのパワーを制御され、イレーザーエンジンへと発展した。島を浮かべ、時間移動をやってのける、これらイレーザーシステムの根源は、すべてこのバスターパワーにある。そのバスターパワーのある意味での純粋な使用法がこの破壊的な威力を誇るバスター砲である。そして、あたりまえだがイレーザーエンジンよりも歴史は古い。バスター砲の集中射撃は、場合によっては星の中心部までをも吹き飛ばしてしまう。この多大なエネルギーの使用は星団でも厳しく制限され、バスターエネルギーのチャージングがほぼ無限に行える"バスターランチャー"は、その使用が全星全国で"禁止"されている。バスター砲には"バスターファウスト""バスターロック"そして"バスターランチャー"の3種が存在するが、これはサイズや威力によって分けられているのではなく、エネルギーのチャージング法による区別である（威力は同エネルギーならばすべて同じである)。バスターファウストは砲身部とエネルギーチャージブロックが別になっているものであり、バスターロックは砲身とチャージャーが一体となっているもの、バスターランチャーはチャージングのパワーソースを母機と共有するものである。3種ともに、サイズは10～100メートルまでいろいろ、もちろんチャージング能力の高いほうが威力がある。チャージャーとはイレーザーエンジンのことである。最大のイレーザーエンジンを持つものはいわずとしれたMHであるが、最小でも10メートルのこの砲を両手に装備すればMH本来の目的「相手MHをぶちこわす」ことが不可能になるために、装備はされない。大体、MHにはバスター砲は効かない。"よけられて"しまうからである。全種バスター砲はそのチャージングタイムがかかることもあり、チャージ中に相手に真っ二つにされるだろう。バスター砲はBT砲とも呼ばれ、星団内で使用されることはまずない。町ひとつ吹き飛ばしたところで、誰がそんな土地を欲しがるのか？ジョーカーでの戦争はゲームと化している。したがって核だのバスターだのは無用のものであろう。ほとんどの使用は宇宙での小惑星の破壊や、惑星改造におけるものであろう。長所としてはメチャクチャな破壊力（普通は100メートル四方をあとかたもなく吹き飛ばす程度である)。短所は大がかりなシステムと次弾のチャージに数分かかるというところであろう。なお、3種のイラストは区別のため、すべて同サイズ、同一砲身を使ってある。





リフレクタープレート
マズルブラストが大きいことが予想されるためについている。バスターファウストにつけられていることが多い

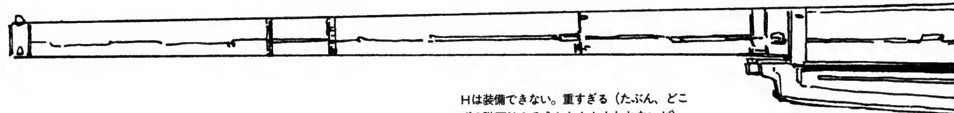
母機イレーザーへ

他2種と異なり、冷却システムを砲にもてないため、エキゾーストがフィンにつく。砲身だけでの区別はこれのみだろう。大型砲にはエキゾースト、小型砲（K.O.Gのもの）はフィンである

BUSTER ROCK

●バスターロック

砲身とチャージャーが一体化した"砲台"である。したがって飛行艇から宇宙船、地上砲台まであらゆるところで見られる。チャージャーとなるイレーザーが最初から決定しているために威力は安定しており、多くのバスターロック砲塔や砲台を装備するならば、1つがトラブルを起こしても他は影響がないなど利点も多い。しかし、チャージングタイムがどうしても縮められないため、3基、5基と多く装備されるのもしかたがないだろう。MHは装備できない。重すぎる（たぶん、どこぞの陛下はやろうとしたかもしれないが）。平均して30メートル前後の大きさのものが多い。大きくしてもかさばるだけである。



支持架

反動用リコイルガイドフレームを兼ねる。砲身がリコイルするのはロックのみ

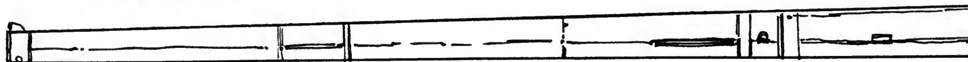
BUSTER LAUNCHER

●バスターランチャー

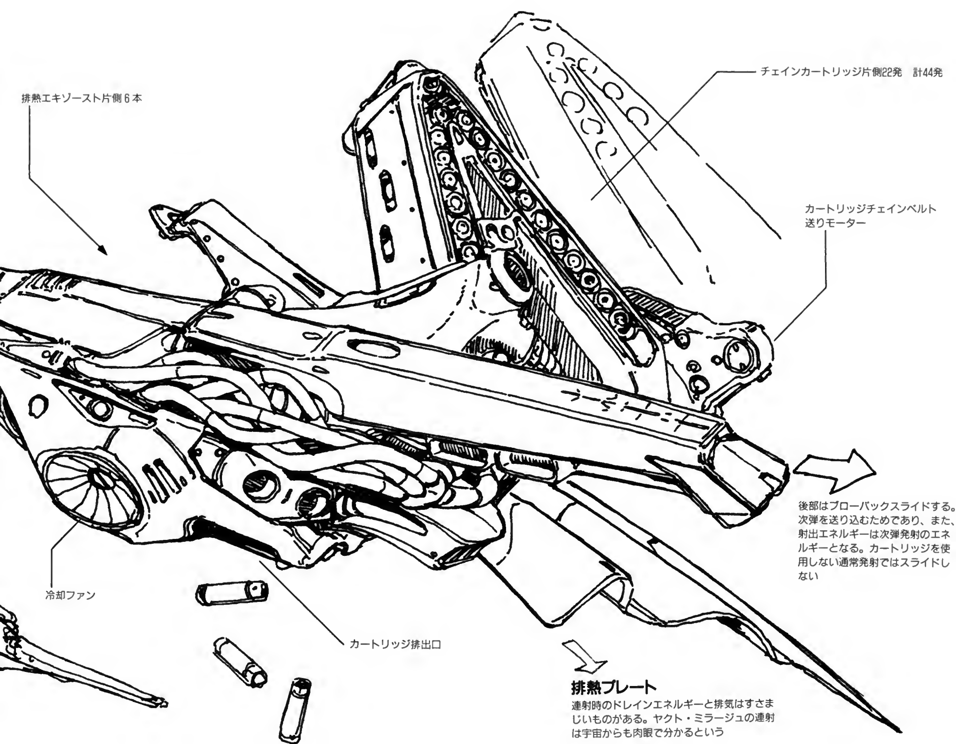
大きさは15～100メートルをこえるものまで多様。バスターファウスト、バスターロックとの差はいたってカンタン。チャージャー不要である。つまり、エネルギーは母機からチャージされる。ランチャー自体はただの長い筒であるのはバスターファウストと同じ。そのシステムから宇宙船の主砲クラスに使用され、宇宙船のメインエンジンのパワーをもろに受ける砲である。3種の中で唯一、威力が調整できるのはこのためである。だからランチャー（打ち出し機）と呼ばれるのである。欠点としてはいわずとも分かるとおり、親エンジンがいかれたりパワーダウンすれば、もろにその影響を受けること。したがって大パワーのエンジンが必要になるが、最大のパワーチャージを行えるイレーザーエンジンはMHの持つイレーザーシステムである。

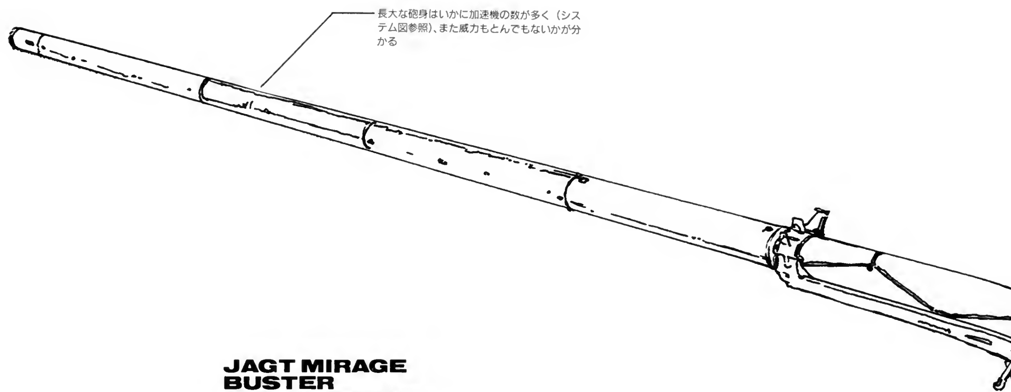
が、MHにこれを装備させるとMH自体にものすごい負担がかかること、それだけの大パワーの発射にMHが耐えられないこと、発射後のMHはテレポート以上にパワーを使用し、戦力にならないことなどの理由でMHに装備されることは滅多にない。

また、チャージングタイムはその母機のエンジン出力による。0から30分まで。連射は以上の理由で不可能……とされていたが、どっかの国王がとんでもないシステムを開発し、44回の連射を可能にした化け物MHを所有しているという。最大威力は空間をねじ曲げる。ピンポイントバーストバスターから星1つを吹っ飛ばすフルバーストバスターまで自在。ジョーカー史上、これ以上の威力を持つものはＬＥＤドラゴンのノヴァ・フレームと天照フォーチュンの「あんたなんかだーいっきらい、消えておしまい／」の一言くらいのもんだろう（彼がこのセリフを7777年以降に言うと、宇宙自体が消えてなくなる、全能神である)。人類が作り出した兵器としては、史上最強最悪のものである。



地上ではバイポッドかバランサーをつける場合が多い

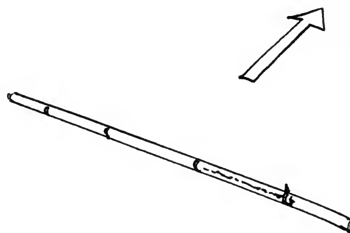

排熱エキゾースト片側６本
チェインカートリッジ片側22発　計44発
カートリッジチェインベルト
送りモーター
後部はブローバックスライドする。次弾を送り込むためであり、また、射出エネルギーは次弾発射のエネルギーとなる。カートリッジを使用しない通常発射ではスライドしない
冷却ファン
カートリッジ排出口
排熱プレート
連射時のドレインエネルギーと排気はすさまじいものがある。ヤクト・ミラージュの連射は宇宙からも肉眼で分かるという



JAGT MIRAGE BUSTER GUN CARRIAGE

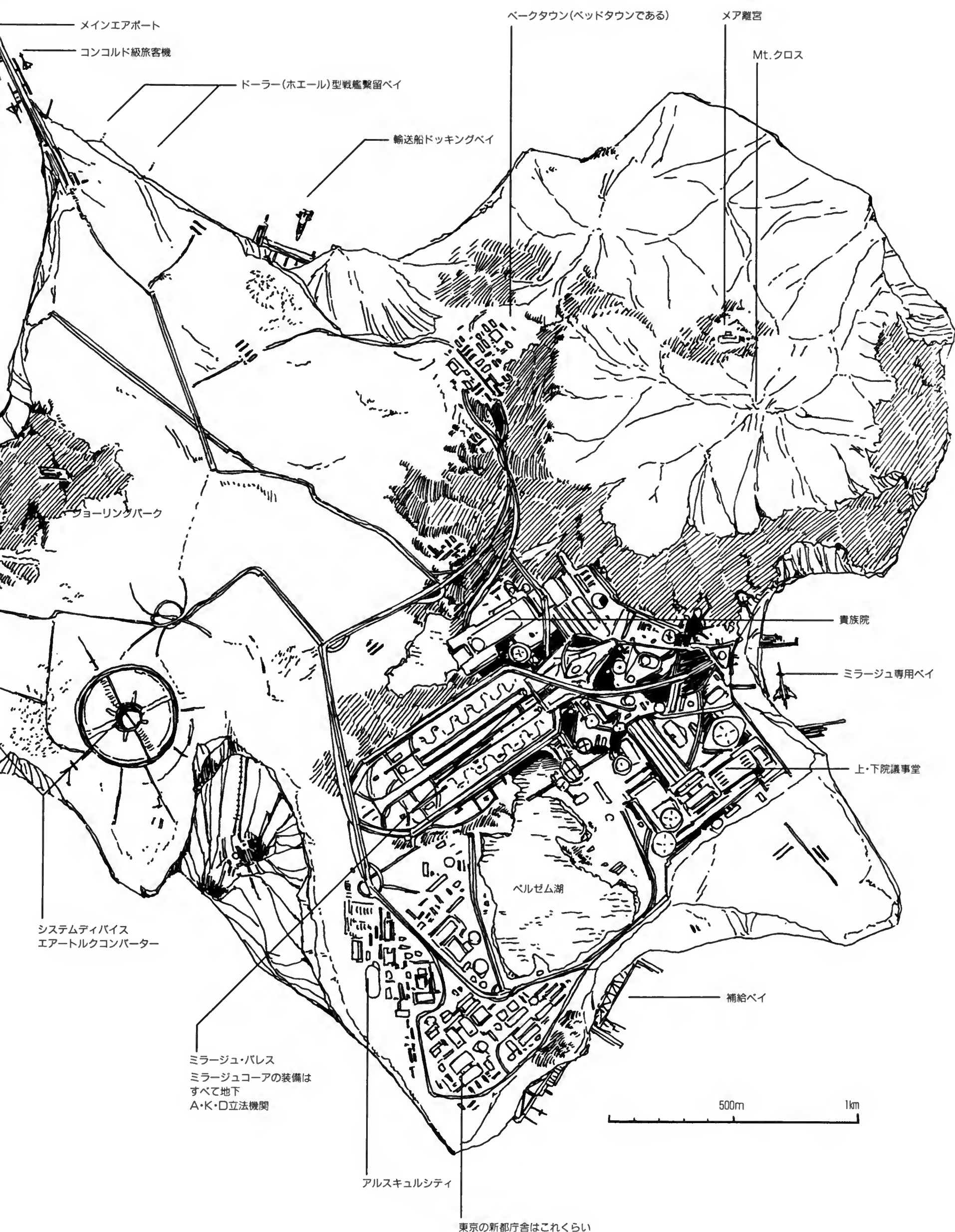
●ヤクト・ミラージュバスター砲架

２基のイレーザーパワーユニットを持つモンスターＭＨであるヤクト・ミラージュは100メートルを超えるバスターランチャーを２門、照準用のバスターランチャーを１門持つ。通常、１基のバスター砲を発射するとＭＨのエンジンをフルに回しても、次弾をチャージするまでには約５分前後かかるのだが、バスター砲自体を２連装にし、なおかつチェインカートリッジなる圧縮ブロックを持つカートリッジを片側に22本、計44本装備し、それらを次々にチャンバー内に送り込むことによって、１秒間に３発もの発射を可能にしている。十分に加圧されたチャンバーに、１基のイレーザーエンジンをフルに回し、次々にカートリッジ内にエネルギーチャージを行う離れワザをやってのけるのである。44発を射ちつくすと、通常のバスターランチャーレベルのチャージを行い、連射はできなくとも、"タマギレ" になることはない。連射のためのエネルギーチャージは、前弾発射時のエネルギーをそのままジェネレーターに回すことにより可能となった。なお、ヤクト・ミラージュは決して "移動砲台" ではない、れっきとした対ＭＨ用のモンスターマシンであり、実剣を装備する。また、グリーン・レフトはバスター砲を外し、デーモン形態となって何度も戦闘を行っている（デザインは完成しているのだが、あまりにすんざまじいので、いつ発表するかはじぇんじぇん分からない。確かにすんごいのよ、ホント）。ちょっとだけ教えると、副手、副足をもち、長大なスタビライザをひきずっているＭＨである。



同軸砲

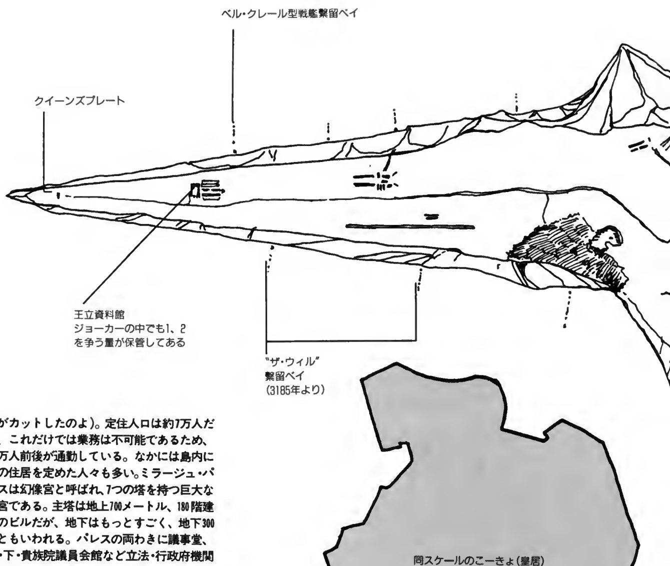
副砲。サイズはナイト・オブ・ゴールドのものと同じ。主に直接照準に使用される。まず、こいつをぶっぱなしてから、標的のあたりをつけ、主砲をぶっぱなすのは戦車の同軸機銃と同じ（そんなことレーザー光線でやりゃいいじゃないかと思うのだが、あの方はそんなしみったれたことはオキライらしい……）


メインエアポート
コンコルド級旅客機
ドーラー(ホエール)型戦艦繋留ベイ
輸送船ドッキングベイ
ベークタウン(ベッドタウンである)
メア離宮
Mt.クロス
ジョーリングパーク
貴族院
ミラージュ専用ベイ
上・下院議事堂
ベルゼム湖
システムディバイス
エアートルクコンバーター
ミラージュ・パレス
ミラージュコーアの装備は
すべて地下
A・K・D立法機関
補給ベイ
500m
1km
アルスキュルシティ
東京の新都庁舎はこれくらい

FLOAT TEMPLE

●フロート・テンプル

星団暦2955年、星団中を驚嘆させることが起きた。それは1つの島をそのまま空中へ持ち上げたことであり、その上にはA・K・Dの新たなる首都、ミラージュ・パレスが建設されていたのである。旧称パトラクシェアイランド。その浮上は天照が500年も前より計画していたことであり、また56年前、2899年に天照がデルタ・ベルンの大統領となったことが契機となった。総合首都の造営、またそれより80年前に結成された〝ミラージュ騎士団〟の本部としても新設が必要だったからである。それらすべてを1つの島に集め、また空中宮殿とすることによる絶対的な力の誇示は、グリース国民の誇りがなしえたのである。予算はA・K・Dより一部、大半は天照の私財とグリースの国家予算を使った。この背景には、いかにA・K・D帝王といえどもA・K・D全体の予算を使うのはグリース以外の国々への配慮からもつつしむべきとの考えがあったからと思われる。グリースの首都自体は地上のグリステリア市に残し、A・K・Dの総本山となったのである。



その浮上にはデルタ・ベルンの干潮時が選ばれ、浮上時の津波の発生をおさえた。もっとも島のまわりにはウェーブフェンスが張られ、浮上した後の窪みはすみやかに同量の土で埋め立てられた。これはごくわずかとはいえ、海面低下による(浮上した島の分の体積)海産、海水生物への影響をおさえるためである。浮上後は3年をかけて、島下部のコーティングを行った。巨大な岩盤などが地上へ落下するのを防ぐのと　必要以上の水分の空中流出を防ぐためである。浮上時はゆっくりと静かに上昇していった。おかげでこの島にいた海鳥の一部や渡り鳥は、そのまま脱出の機会を失い、いついてしまったくらいである。島内部はフレーミングで骨格があるとはいえ、大半が自然物なので地上へボロボロと色々なものが落ちるのはやむをえない。そのためにバリアラインとエキストラクターなるロボット、監視ボールが周囲を警戒している。まあ、まかり間違っても内部から超々巨大戦艦など出てこないので安心されたし(何のこっちゃ)。大半の機能は備えてはいるが、やはり島は島であって、天照やミラージュも延々ここにいるというわけではなく、行事や用務のある都度地上におりている。また、見学や国民の観光ルートもちゃんとあり、日に5便以上エアバスが往復しており、遊覧飛行ツアーもある(NT5月号スパコーンのエピソードの前にこれがあったがカットしたのよ)。定住人口は約7万人だが、これだけでは業務は不可能であるため、30万人前後が通勤している。なかには島内に仮の住居を定めた人々も多い。ミラージュ・パレスは幻像宮と呼ばれ、7つの塔を持つ巨大な王宮である。主塔は地上700メートル、180階建てのビルだが、地下はもっとすごく、地下300階ともいわれる。パレスの両わきに議事堂、上・下・貴族院議員会館など立法・行政府機関がある。さらに後部地下には、巨大な宇宙船ベイをもち、ベル・クレールが1隻収容され、スクランブルに備えている。全ミラージュコーアの兵器、MHはすべて地下におさまり、ゴーズ騎士団の2分の1がこのパレス内にいる(残りはグリース本国)。アイシャは首相として半分を本国、半分をミラージュ・パレスで、天照家のアトワイト(エックス)、ライム、コーダンテ家もパレス内に住居をかまえている。今回の図面は2989年当時のものである。こまかいところは毎年改装、改築をやっているようなのでしょっちゅう変わる(といってもどこが変わったかこのスケールではわからないだろうが……)。A・K・Dの栄華を極めた浮遊島ではあったが、4099年、アラート・エックスの駆る〝ワンダースカッツ〟により消滅し、海のもくずと消えた。島内で数々のミラージュマシンが作られたが、ベル・クレールやザ・ウィルなどの船だけは宇宙空間で建造されている。

フロート・テンプル(旧称パトラクシェ島)

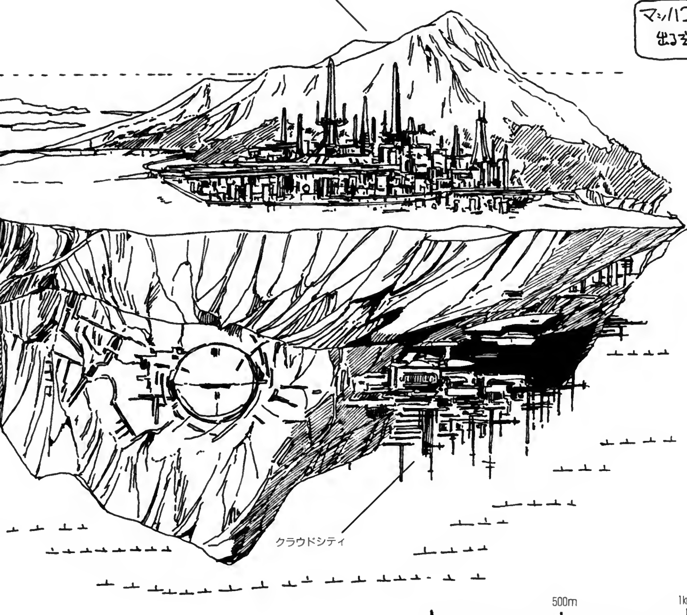
A・K・D総首都	グリース王国立法行政府
A・K・D特別区	(グリース王国グリステリア市パトラクシェ区)
全長	6.9km
全幅	4.322km(こっちが全長かもしれない)
人口	73,000人前後(定住者) 通勤者を含めると最大約400,000人になる
主な都市	ミラージュ・パレス(天照王宮、天照家王宮、ミラージュ騎士団本部、A・K・D議会、行政庁他) アルスキュルシティ(第一都市、商業地) ベークタウン(地上のベッドタウン) クラウドシティ(下部にある都市、ダウンタウンおよび観光地) カルザークエリア(中心部にある動力、重工業エリア)その他
区の花	lily of the valley(谷間のユリとか訳すアホがいるがスズランのことだよん)
区の鳥	恐竜類鳥目キジ科キジ(たくさんいる。とりあえずジョーカーでは鳥は恐竜の親戚とされている、らしい)
区長	ダグエラン・ルス(改選なし)
区の特産品	レッド・ミラージュ他モーターヘッド、バスター砲等超重工業製品
区の著名人	おそれ多くて言えない(あのアホである)。以下多数
通常巡航速度	毎時25〜40km/h以下。普通は25km/h。気候に合わせる(台風のときは停止している)
最大速度	下図

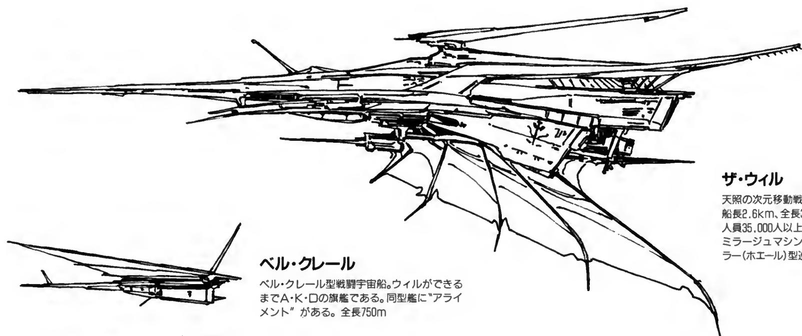


……住民はいつも死の恐怖と戦っている……らしい……

マウントクロスメア

標高850m足らずの山だが、ウェザーコントロールが地上500mしかきかないために、それ以上の部分はもろに地上3000mの気候をうけ雪山となる。こんな異様で美しい風景を持つのもここの特徴





ザ・ウィル

天照の次元移動戦闘コロニー。船長2.6km、全長3.25km。収容人員35,000人以上。収容MH全ミラージュマシン。翼下にドーラー(ホエール)型巡洋艦2隻収容



ベル・クレール

ベル・クレール型戦闘宇宙船。ウィルができるまでA・K・Dの旗艦である。同型艦に"アライメント"がある。全長750m



ドーラー

ホエール型戦闘巡洋艦。全長450m。超高速宇宙船である。同型艦に"ドーラー""ランス""ギグ"の3隻



コンコルド　全長80m。ジャンボも同じ。



戦艦"大和"(日本の戦艦。空は飛ばない方)



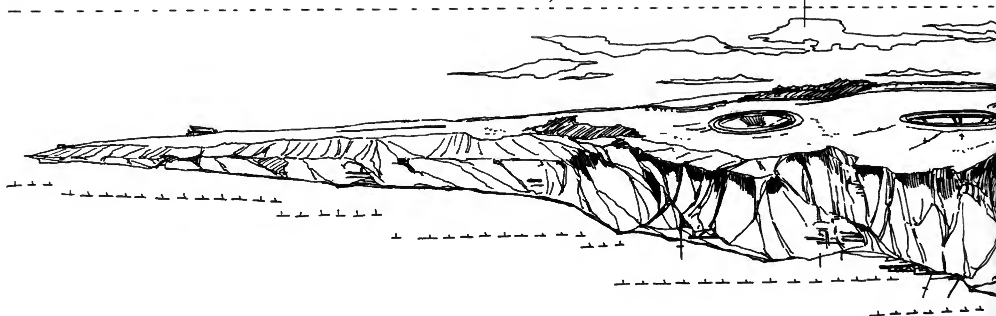
東京新都庁舎　何かダークカラーでアクマでも住んでいそうなイメージね

フェラーリテスタロッサ(印刷のヨゴレじゃないぞ)

人間(見えないハズ)←描いてない

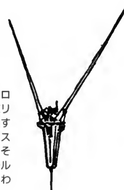
ウェーザーライン

雲は自然発生する。よくフロート・テンプルのシーンで空に細いすじが入っているのは、高層雲のすじグモ。これはフロート・テンプルが高空にいるため、やけにはっきり見えるのだ。これはフツーの積乱雲



バリケードライン

エキストラクター



エキストラクター

フロート・テンプル周辺にあるセキュリティロボット。主な役目はバリケードラインのバリアでも粉砕不可能な岩石等の落下物を破壊することである。時々、スペクターとラキシスがドラムカンをほーり投げたりすんのよ。その他にもハガレ防止のロボットやパトロールブイ等かなりのセキュリティロボットがまわりをとりまいている

ミラージュ・パレス基部
いかに地下が巨大かわかるだろう

MH工場区
地下50階より地下120階まで使った巨大工場。天照の遊び場である。超シークレットエリアでもある

船ドック
ベル・クレールまで収容可。ウィルは宇宙で

吸排気口

クラウドシティ

この辺の巨大パーツは宇宙で作られている

イレーザーエンジン
フロート・テンプルを浮遊させるメインエンジンである。そもそもイレーザーエンジンは子どものディグ(オートバイ)から車、船、MH、果ては衛星まで動かすことのできるパワーユニットであり、このくらいの島をコントロールするには何の問題もない。ただ、こういうアホなことをするのは天照しかいなかったということである。さっすが光を動力とするエンジン。別に曇りや雨の日が続いても地表に落っこちることはない巨大なジェネレーターを持つ……が、もしかすると1ヵ月間も雨が続くと落っこちる可能性もないとはいえない

気候

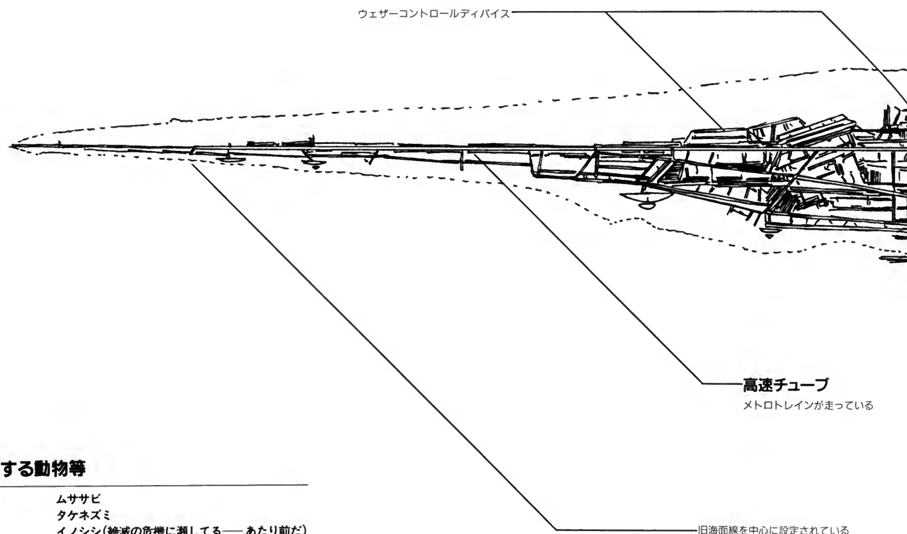
気候コントロールにより地上と同じである。ただし、旧海水面から500メートル以上と地上外周に打ちこまれているバリアゾーンはもろに標高3000メートルの気象状態を受けることになる。さらにフロート・テンプルはグリース上空を優雅に旋回しており、その時その時のグリース王国の気象にエーキョーされ、低気圧地帯に入れば雨や雲りとなり、夏は暑く、冬は雪がふり、いかに天照が「今日は晴がいい」といってもそうはならないのであった。自然の力は強いのだ。日の出を地上より何分か先に見られるとゆーくらいであろうか。

周辺

水分・湿気は雨がふるため、ある程度の加水のみでOKであり、地面に染みこんだ余分な雨水は自然と島下部から排出され、雲となる。地下水脈があり、水はそこから供給される。自然石の落下などはエキストラクターが処理し、とりあえずバリアラインをこえておっこちて死んだ人間もいない。

メイン・フレーム

この巨大なメイン・フレームはまだこの島が大地の一部であった頃より掘り返されたのだろう。したがって実は上面の自然は60%が後から作られたものだったりする。フレーム内にはFRT、つまり高速移動サービス(地下鉄)が網の目のごとく走りまわっている。島内の移動はほとんどこれを使用する。



生息する動物等

獣類	ムササビ タケネズミ イノシシ(絶滅の危機に瀕してる——あたり前だ) オコジョ イタチ テン アメリカンショートヘア(単に野性化しただけ) ドブネズミ(駆除中) アカギツネ　その他
鳥類	キジ　フクロウ ハヤブサ　カワセミ スズメ　ムクドリ モズ　オナガ イワヒバリ　コサギ ライチョウ タンチョウ(脱出できなくて留鳥となった) クイナ アオツラカツオドリ（海鳥だったが脱出できなくてペルゼム湖にすみついた） その他
恐竜類	アビミムス(原鳥かもしれないといわれるが……)何とジョーカーでは絶滅していなかったりする。ただし、こいつは全身に羽をもった鳥に近いものである。全長60センチほど
むし	いっぱいいる。オオクワガタもいる。だれも枯れ木をブチ壊さんので生育している
木々	常緑樹他、ブナ、クヌギ等の雑木林は日本と同じ
その他	ペルゼム湖に魚多数

このインデックスはCHARACTERS 1：MIRAGE、CHARACTERS 2：COLUS、CHARACTERS 4：FATIMA、およびCHARACTERS PLUS 1～4に収録されているキャラクターとメカ設定の掲載誌と掲載ページを一覧にしたものです

CHARACTER INDEX

CHARACTERS 7

DRAGON KLEIN

発行
1992年9月20日（第1刷発行）
1994年9月20日（第2刷発行）
1999年5月10日（第3刷発行）

価格
1500円
(消費税を含む)

企画／編集
株式会社エディット

発行所
株式会社トイズプレス
東京都江東区越中島1-3-12-1003
郵便番号　135-0044

販売元
株式会社バーセル
東京都江東区越中島1-3-12-807
郵便番号　135-0044
郵便振替　00100-7-176061
口座名　トイズバーセル

CHARACTERS DRAGON KLEIN
ISBN 4-924930-07-5 C0079



TOYSPRESS, INC.
#1003 1-3-12 Etchujima Koto-ku Tokyo Japan 135-0044
Fax : +81-3-3643-9699 E-mail : info@toyspress.co.jp
http://www.mediagalaxy.co.jp/toyspress/

First Published 1992 in JAPAN by TOYSPRESS,INC. Tokyo.
Printed in JAPAN

●
MAMORU NAGANO

●
DAME

●
TORU SHIBUYA
HARUKO NOTO

●
MICHIYO SATO

●
YOSHIKAZU MOTO
KAZUMASA HAKAMADA
YUTAKA TAKEUCHI
SACHIKO SAKURAI

●
HIROMI KAYA / PARCEL

●
TETSUYA ASAKURA

●
RYOETSU SATO



1500 Tax included

BASIC ART OF THE FIVE STAR STORIES DRAGON KLEIN / CHARACTERS 7